九州職業能力開発大学校

令和6年度

能力開発セミナーガイド

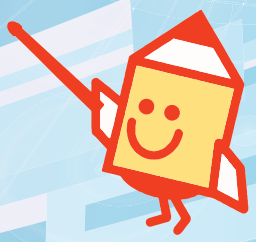
在職者向け能力開発セミナーのご案内

目次

- 能力開発セミナーのご案内 …… 1
- 受講お申込みから実施までの流れ …… 2
- セミナー受講体系図 …… 3
- 能力開発セミナー　一覧 …… 6
  - 機械系 …… 8
  - 電気・電子系 …… 18
  - 居住系 …… 32
  - 工場管理・教育訓練 …… 38
- オーダーメイド型セミナーのご案内 …… 42
- 共同研究・受託研究のご案内 …… 43
- 施設・設備利用のご案内 …… 44
- 生産性向上支援訓練のご案内 …… 46
- 交通アクセスのご案内 …… 47
- 受講申込書 …… 裏表紙

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部
九州職業能力開発大学校
援助計画課
〒802-0985　福岡県北九州市小倉南区志井 1665-1
https://www3.jeed.go.jp/fukuoka/college/
TEL：093-963-8352　FAX：093-963-0126
Eメール：kyushu-college03@jeed.go.jp

能力開発セミナーのご案内



九州職業能力開発大学校では、高度な人材育成支援の一環として、在職者の方を対象とした能力開発セミナーを計画・実施しております。

カリキュラムは、企業や事業主団体における人材育成、在職者の方が抱える課題解決を支援するため、ものづくり分野を中心に生産性の向上や業務の改善などに必要な専門的知識、技能及び技術が習得できる内容となっております。

貴社・団体の人材育成の一助としてぜひご検討ください。

令和４年度のアンケート結果

- セミナー受講が役に立ったとご回答いただいた受講者の方々 **99.1 %**
- セミナー受講が事業所の生産性の向上や現場力の強化につながったとご回答いただいた事業主の皆様 **90.2 %**

能力開発セミナー教室の建屋のご案内

建屋案内

B棟～M棟：セミナー教室

P：駐車場

受講お申込みから実施までの流れ

1 お申込み

「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたは FAX、郵送でお申込みください。

申込期日	原則として、開講日の 14 日前までの受付となります。 ただし定員になり次第締め切ります。

2 請求書の発送

開講日の 14 日前を目途に、「請求書」及び「受講票」を発送します。

3 受講料の入金

開講日の 5 日前までに、所定の銀行口座にお振込みください。（振込手数料はご負担願います。）
また、受講料は消費税を含んでいます。
受講料が未納の場合は、受講をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

4 セミナー受講

受講票、筆記用具、その他各コースで指定のものをご持参ください。
出席時間が当該コースの総訓練時間の 80%（総訓練時間が 12 時間の場合は 100%）を満たしている場合は、修了証書を交付します。

＊セミナー終了後に、すべてのコースについて受講者及びその事業主の方に対して、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査へ回答をお願いしております。

受講取消（キャンセル）について

セミナー開講日の 14 日前（土日祝日に当たる場合は直前の平日）までにお電話でご連絡ください。
それ以降の取消（キャンセル）やご連絡がない場合は、受講料をご負担いただきますのでご了承ください。

コースの中止・延期について

定員に満たない場合及び担当者の都合により、コースを中止又は延期させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
コース中止の場合、受講料は返金いたします（振込手数料は返金できませんのでご了承ください）。
また、特別警報等による大規模災害が予想される場合や災害発生時等は、コースを中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。緊急的な中止等についてはホームページに掲載しますのでご確認ください。

セミナーのお問い合わせ、ご相談は、表紙に記載の援助計画課まで願いいたします。

機械系受講体系図

機械加工・金属加工・測定関連セミナー

- 3M010 (P8) 実践機械製図 → 3M070 (P8) 機械設計のための総合力学 → 3M280 (P10) 設計者ＣＡＥを活用した構造解析
- 3M010 → 3M150 (P10) 2次元CADによる機械製図技術 → 3M060 (P8) 3次元CADを活用したソリッドモデリング技術
- 3M060 → 3M120 (P9) 3次元CADを活用したアセンブリ技術 → 3M160 (P9) 3次元CADを活用したサーフェスモデリング技術
- 3M120 → 3M170 (P9) 3次元CADを活用したアセンブリ技術（板金部品のアセンブリ） → 3M290 (P10) 板金製作を考慮した板金部品の設計技術(板金展開図の作成)
- 3M030 (P11) マシニングセンタプログラミング技術 → 3M110 (P12) マシニングセンタ加工技術 → 3M220 (P13) カスタムマクロによるNCプログラミング技術
- 3M200 (P13) NC旋盤プログラミング技術 → 3M240 (P14) NC旋盤加工技術
- 3M080 (P12) 【匠塾】機械組立仕上げのテクニック
- 3M050 (P11) 旋盤加工技術 → 3M090 (P12) 【匠塾】旋盤加工応用技術
- 3M020 (P11) フライス盤加工技術
- 3M180 (P13) 切削加工の理論と実際
- 3M130 (P14) プレス加工技術＜プレス加工のトラブル対策＞
- 3M250 (P14) 精密測定技術（長さ測定編） → 3M210 (P15) 精密測定技術（機械検査編）

電気・電子系受講体系図

電子回路技術関連セミナー

電子機器の設計・品質管理・実装組立業務に従事されている方にお勧めです!!

- 3D310 (P18) 電子回路の計測技術〈テスタ、オシロスコープ編〉
  - → 3D080 (P18) トランジスタ回路の設計・評価技術 → 3D100 (P21) パワー・デバイス回路設計技術
  - → 3D160 (P19) FET回路の設計・評価技術 → 3D330 (P21) 回路シミュレータで広がる電子回路設計技術（LTspice編）
  - → 3D060 (P18) オペアンプ回路の設計・評価技術 → 3D190 (P19) シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術（LTspice編）
  - → 3D230 (P20) 理論的アプローチによる回路設計の勘どころ → 3D320 (P20) アナログフィルタ回路設計・評価技術
  - → 3D200 (P19) ディジタル回路設計技術
- 3D150 (P29) 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術
  - → 3D240 (P20) プリント基板設計技術（KiCad編）
  - → 3D380 (P21) プリント基板設計技術（Zuken編）

マイコン・組込み・自動制御関連セミナー

制御システムや組込みシステムの設計・開発業務に従事されている方にお勧めです!!

- 3D020 (P22) 組込み技術者のためのプログラミング
- 3D090 (P22) センサを活用したIoTアプリケーション開発技術
- 3D130 (P23) IoT機器を活用した組込みシステム開発技術

→

- 3D040 (P22) 組込みシステムにおけるプログラム開発技術
- 3D180 (P23) AI活用による画像認識システムの開発
- 3D360 (P24) 組込みLinuxによるネットワークプログラミング技術

- 3D120 (P23) 自動制御の理論と実際

→

- 3D400 (P24) 数値解析ソフトによるモデルベースデザイン導入技術

電気・電子系受講体系図

工場自動化技術（FA）関連セミナー

自動化設備の設計・製造・据付調整や保全・保守業務に従事されている方にお勧めです!!

- 3D010・3D260 (P24)・(P27) 有接点シーケンス制御の実践技術
- 3D170 (P30) 現場のための電気保全技術

→

- 3D070 (P25) PLCプログラミング技術（ラダー編）
- 3D030・3D270 (P25)・(P27) シーケンス制御による電動機制御技術
- 3D350 (P29) 電動機のインバータ活用技術
- 3D050 (P29) 制御盤製作技術
- 3D290 (P30) 高圧電気設備の保守点検技術

→

- 3D210 (P26) PLC制御の応用技術
- 3D220 (P26) PLCによる電気空気圧技術
- 3D340 (P30) 実践的PLC制御技術
- 3D140 (P26) PLCによるインバータ制御技術
- 3D110 (P25) 電気設計CADを活用した制御盤設計技術

→

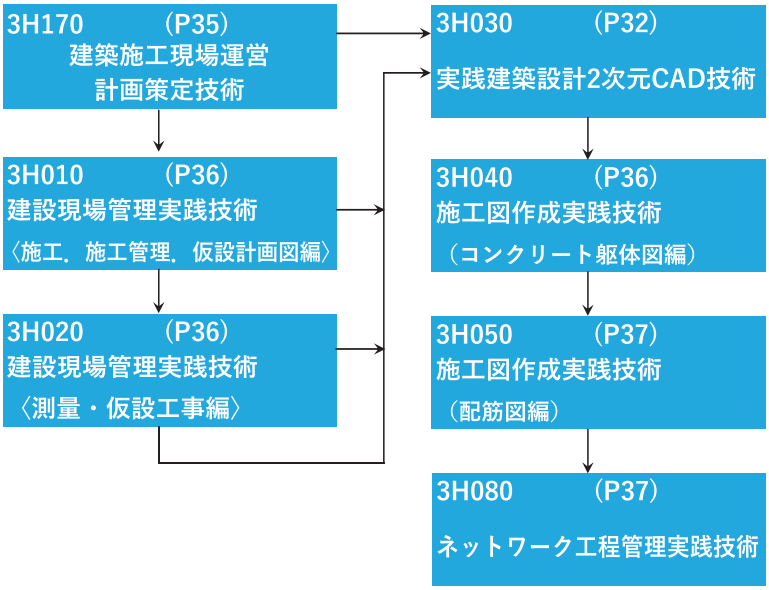
- 3D370 (P28) PLCプログラミング技術（ST言語編）
- 3D250 (P27) PLCプログラミング技術（IEC準拠編）
- 3D300 (P28) PLCによるFAネットワーク構築技術〈EtherCAT,EtherNetIP、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ接続編〉
- 3D390 (P28) 電気設計CADを活用した制御盤設計技術(応用編)

- 3D280 (P31) 産業用ロボットの安全システム設計手法 ＜協働ロボットシステム導入への実用的な安全構築と演習＞

居住系（建築系）受講体系図

建築施工管理　関連セミナー

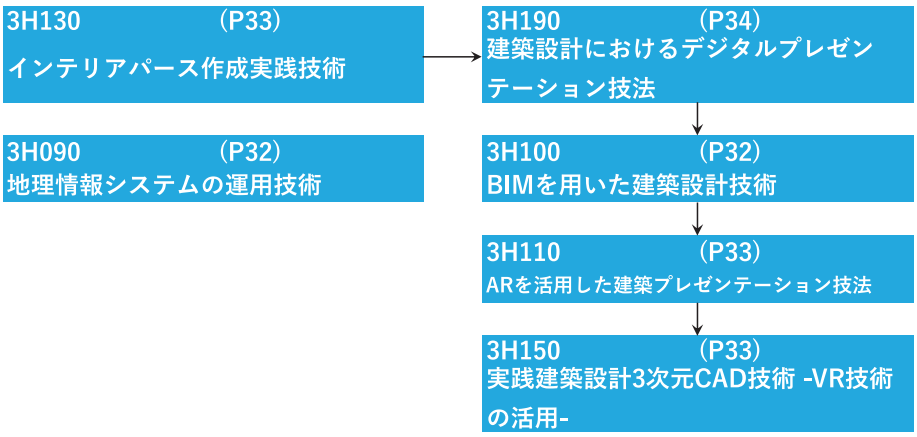
建築施工管理業務に従事されている方にお勧めです!!



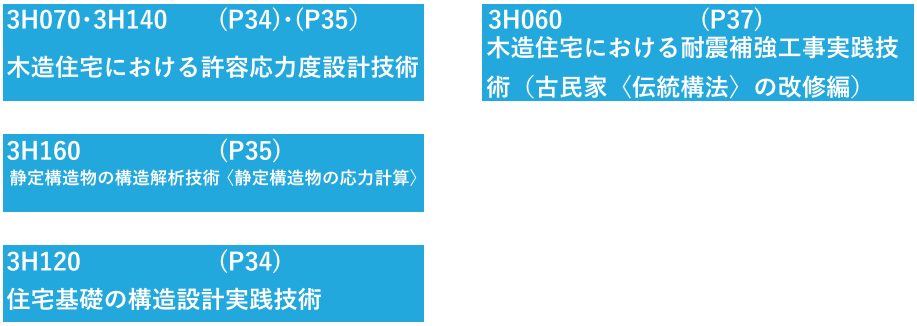
建築計画・構造、計測、人材育成　関連セミナー

建築計画・構造、施工、人材育成業務に従事されている方にお勧めです!!

＜建築計画＞



＜構造＞



令和６年度 能力開発セミナー 一覧

系	分類	コースNo	コース名	日程	時間帯	訓練時間(時間)	定員(人)	受講料(円)	掲載ページ
機械系	機械設計	3M010	実践機械製図	4/13(土),20(土),21(日)	9:00～16:00	18	10	12,500	8
		3M060	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	5/25(土),6/1(土)	9:00～16:00	12	10	7,000	8
		3M070	機械設計のための総合力学	5/31(金),6/7(金)	9:00～17:30	15	10	11,500	8
		3M120	3次元CADを活用したアセンブリ技術	6/29(土),7/6(土)	9:00～16:00	12	10	7,000	9
		3M160	3次元CADを活用したサーフェスモデリング技術	7/27(土),8/3(土)	9:00～16:00	12	10	7,000	9
		3M170	3次元CADを活用したアセンブリ技術（板金部品のアセンブリ）	11/23(土),30(土)	9:00～16:00	12	10	7,000	9
		3M150	2次元CADによる機械製図技術	8/31(土),9/1(日),7(土),8(日)	9:00～16:00	24	10	15,500	10
		3M280	設計者CAEを活用した構造解析 NEW	12/7(土),14(土)	9:00～16:00	12	10	7,500	10
		3M290	板金製作を考慮した板金部品の設計技術（板金展開図の作成） NEW	2025/1/18(土),25(土)	9:00～16:00	12	10	7,000	10
	機械加工	3M020	フライス盤加工技術	5/11(土),12(日),18(土)	9:00～16:00	18	10	17,000	11
		3M030	マシニングセンタプログラミング技術	5/18(土),25(土)	9:00～16:00	12	10	9,000	11
		3M050	旋盤加工技術	5/25(土),26(日)	9:00～16:00	12	10	10,500	11
		3M090	【匠塾】旋盤加工応用技術<旋盤作業における高度熟練技術>	6/8(土),15(土),22(土),29(土)	9:00～16:00	24	10	22,500	12
		3M080	【匠塾】機械組立仕上げのテクニック<手仕上げ作業における高度熟練技術>	6/15(土),22(土),29(土)	9:00～16:00	18	10	17,000	12
		3M110	マシニングセンタ加工技術	6/22(土),23(日)	9:00～16:00	12	10	12,500	12
		3M180	切削加工の理論と実際 NEW	9/6(金),13(金)	9:00～16:00	12	10	8,000	13
		3M200	NC旋盤プログラミング技術	9/7(土),14(土)	9:00～16:00	12	10	7,500	13
		3M220	カスタムマクロによるNCプログラミング技術 NEW	10/7(月),9(水),11(金)	9:00～16:00	18	10	10,500	13
		3M240	NC旋盤加工技術	10/19(土),26(土)	9:00～16:00	12	10	9,000	14
	金属加工／成形加工	3M130	プレス加工技術<プレス加工のトラブル対策>	6/29(土),7/6(土)	9:00～16:00	12	10	8,500	14
	測定・検査	3M250	精密測定技術（長さ測定編）	8/2(金),3(土)	9:00～16:00	12	10	6,500	14
		3M210	精密測定技術（機械検査編）	12/6(金),13(金)	9:00～16:00	12	10	7,500	15
	工場管理	3M100	製造現場における工程管理技法と改善	6/18(火),19(水)	9:30～16:30	12	10	9,000	15
		3M140	QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証 NEW	7/11(木),12(金)	9:30～16:30	12	10	9,000	15
		3M190	製造現場の業務改善のための問題解決技法<現場の問題を捉えるための“眼”を養う>	9/5(木),6(金)	9:00～16:00	12	10	11,000	16
		3M230	生産現場における現場改善技法	10/17(木),18(金)	9:30～16:30	12	10	9,000	16
		3M260	生産現場に活かす品質管理技法<改善対象に合わせた技法活用力を養成>	11/7(木),8(金)	9:00～16:00	12	10	11,000	16
		3M270	製造業におけるコストダウン実践法<現場コストを要因と結果で考える>	12/5(木),6(金)	9:00～16:00	12	10	11,000	17
	教育訓練	3M040	5Sによるムダ取り・改善の進め方	5/21(火),22(水)	9:30～16:30	12	10	9,000	17
電気・電子系	測定・検査	3D310	電子回路の計測技術〈テスタ、オシロスコープ編〉	11/16(土),17(日)	9:00～16:00	12	10	7,500	18
	電子回路設計	3D060	オペアンプ回路の設計・評価技術	6/10(月),11(火)	9:00～16:00	12	10	9,000	18
		3D080	トランジスタ回路の設計・評価技術	6/15(土),22(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	18
		3D160	FET回路の設計・評価技術	8/1(木),2(金)	9:00～16:00	12	10	10,000	19
		3D190	シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術〈LTspice編〉	8/26(月),27(火)	9:00～16:00	12	10	9,000	19
		3D200	ディジタル回路設計技術 NEW	8/31(土),9/7(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	19
		3D230	理論的アプローチによる回路設計の勘どころ NEW	9/14(土),21(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	20
		3D240	プリント基板設計技術〈KiCad編〉	9/28(土),10/5(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	20
		3D320	アナログフィルタ回路設計・評価技術 NEW	~~11/16(土),23(土)~~ 11/9(土),16(土)	9:00～16:00	12	10	7,500	20
		3D330	回路シミュレータで広がる電子回路設計技術〈LTspice編〉	11/25(月),26(火)	9:00～16:00	12	10	8,500	21
		3D380	プリント基板設計技術〈Zuken編〉	2025/1/18(土),25(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	21
	パワーエレクトロニクス回路設計	3D100	パワー・デバイス回路設計技術	7/6(土),7(日)	9:00～16:00	12	10	7,500	21
	制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】	3D020	組込み技術者のためのプログラミング	5/18(土),25(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	22
		3D040	組込みシステムにおけるプログラム開発技術	6/1(土),8(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	22
		3D090	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術	6/29(土),7/6(土)	9:00～16:00	12	10	10,000	22
		3D120	自動制御の理論と実際	7/25(木),26(金)	9:00～16:45	14	13	13,500	23
		3D130	IoT機器を活用した組込みシステム開発技術	7/29(月),30(火)	9:00～17:00	14	10	11,000	23
		3D180	AI活用による画像認識システムの開発	8/19(月),20(火)	9:00～16:00	12	10	10,000	23

令和６年度 能力開発セミナー 一覧

系	分類	コースNo	コース名	日程	時間帯	訓練時間(時間)	定員(人)	受講料(円)	掲載ページ
電気・電子系	制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】	3D400	数値解析ソフトによるモデルベースデザイン導入技術 NEW	9/5(木),6(金)	9:00～16:00	12	12	13,500	24
		3D360	組込み Linux によるネットワークプログラミング技術	12/7(土),14(土)	9:00～16:00	12	10	8,000	24
	制御システム設計【工場自動化技術(FA)】	3D010	有接点シーケンス制御の実践技術	4/24(水),25(木)	9:00～16:00	12	10	10,000	24
		3D030	シーケンス制御による電動機制御技術	5/21(火),22(水)	9:00～16:00	12	10	8,000	25
		3D070	PLC プログラミング技術（ラダー編）	6/11(火),12(水)	9:00～16:00	12	10	8,000	25
		3D110	電気設計 CAD を活用した制御盤設計技術	~~7/23(火),24(水)~~ 11/23(土),24(日)	9:00～16:00	12	10	8,000	25
		3D140	PLC によるインバータ制御技術	7/30(火),31(水)	9:00～16:00	12	10	11,000	26
		3D210	PLC 制御の応用技術	~~9/4(水),5(木)~~ 9/18(水),19(木)	9:00～16:00	12	10	8,500	26
		3D220	PLC による電気空気圧技術	9/12(木),13(金)	9:00～16:00	12	10	8,000	26
		3D250	PLC プログラミング技術（IEC 準拠編）	10/9(水),10(木)	9:00～16:00	12	10	9,000	27
		3D260	有接点シーケンス制御の実践技術	10/16(水),17(木)	9:00～16:00	12	10	10,000	27
		3D270	シーケンス制御による電動機制御技術	10/23(水),24(木)	9:00～16:00	12	10	8,000	27
		3D390	電気設計 CAD を活用した制御盤設計技術（応用編） NEW	10/24(木),25(金)	9:00～16:00	12	10	8,000	28
		3D370	PLC プログラミング技術（ST 言語編）	10/30(水),31(木)	9:00～16:00	12	10	9,000	28
		3D300	PLC による FA ネットワーク構築技術〈EtherCAT、EtherNetIP、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ接続編〉	11/14(木),15(金)	9:00～16:00	12	10	9,500	28
		3D350	電動機のインバータ活用技術	12/7(土),8(日)	9:00～16:00	12	10	8,500	29
	機器組立／システム組立	3D050	制御盤製作技術	~~6/1(土),2(日)~~ 12/14(土),15(日)	9:00～16:00	12	10	10,000	29
		3D150	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	8/1(木),2(金)	9:00～16:00	12	12	15,500	29
	生産設備保全	3D170	現場のための電気保全技術	8/8(木),9(金)	9:00～16:00	12	10	8,000	30
		3D290	高圧電気設備の保守点検技術	11/7(木),8(金)	9:00～16:00	12	10	10,000	30
		3D340	実践的 PLC 制御技術	11/28(木),29(金)	9:00～16:00	12	10	8,000	30
	生産自動化設計	3D280	産業用ロボットの安全システム設計手法＜協働ロボットシステム導入への実用的な安全構築と演習＞	~~11/27(水),28(木),29(金)~~ 中止	9:30～16:30	18	20	14,500	31
居住系	建築計画／建築意匠設計	3H030	実践建築設計２次元 CAD 技術	5/18(土),19(日)	9:30～16:30	12	12	8,500	32
		3H090	地理情報システムの運用技術	8/29(木),30(金)	9:30～16:30	12	20	10,000	32
		3H100	BIM を用いた建築設計技術 NEW	9/3(火),4(水)	9:30～16:30	12	10	7,000	32
		3H110	AR を活用した建築プレゼンテーション技法	9/5(木),6(金)	9:30～16:30	12	10	10,000	33
		3H130	インテリアパース作成実践技術	10/23(水),24(木)	9:30～16:30	12	10	7,500	33
		3H150	実践建築設計３次元 CAD 技術 －VR 技術の活用－ NEW	11/16(土),17(日)	9:00～16:00	12	12	11,000	33
		3H190	建築設計におけるデジタルプレゼンテーション技法 NEW	12/14(土),15(日)	9:00～16:00	12	12	11,000	34
	建築構造設計	3H070	木造住宅における許容応力度設計技術	6/1(土),8(土)	9:30～16:30	12	10	11,000	34
		3H120	住宅基礎の構造設計実践技術 NEW	10/19(土),26(土)	9:30～16:30	12	10	11,000	34
		3H140	木造住宅における許容応力度設計技術	11/14(木),15(金)	9:30～16:30	12	10	11,000	35
		3H160	静定構造物の構造解析技術〈静定構造物の応力計算〉 NEW	12/11(水),12(木),13(金)	9:30～16:30	18	10	10,000	35
	建築施工	3H170	建築施工現場運営計画策定技術 NEW	4/4(木),5(金)	9:30～16:30	12	15	9,500	35
		3H010	建設現場管理実践技術〈施工，施工管理，仮設計画図編〉	4/8(月),9(火),10(水)	9:30～16:30	18	15	10,000	36
		3H020	建設現場管理実践技術〈測量・仮設工事編〉	4/11(木),12(金),15(月)	9:30～16:30	18	15	9,500	36
		3H040	施工図作成実践技術（コンクリート躯体図編）	5/20(月),21(火)	9:30～16:30	12	10	7,500	36
		3H050	施工図作成実践技術（配筋図編）	5/22(水),23(木)	9:30～16:30	12	10	7,500	37
		3H060	木造住宅における耐震補強工事実践技術（古民家〈伝統構法〉の改修編）	5/29(水),30(木)	9:30～16:30	12	10	10,000	37
		3H080	ネットワーク工程管理実践技術	6/4(火),5(水)	9:30～16:30	12	10	7,000	37
工場管理・教育訓練	工場管理	3M100	製造現場における工程管理技法と改善	6/18(火),19(水)	9:30～16:30	12	10	9,000	38
		3M140	QC７つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証 NEW	7/11(木),12(金)	9:30～16:30	12	10	9,000	38
		3M190	製造現場の業務改善のための問題解決技法＜現場の問題を捉えるための“眼”を養う＞	9/5(木),6(金)	9:00～16:00	12	10	11,000	38
		3M230	生産現場における現場改善技法	10/17(木),18(金)	9:30～16:30	12	10	9,000	39
		3M260	生産現場に活かす品質管理技法＜改善対象に合わせた技法活用力を養成＞	11/7(木),8(金)	9:00～16:00	12	10	11,000	39
		3M270	製造業におけるコストダウン実践法＜現場コストを要因と結果で考える＞	12/5(木),6(金)	9:00～16:00	12	10	11,000	39
	教育訓練	3M040	5S によるムダ取り・改善の進め方	5/21(火),22(水)	9:30～16:30	12	10	9,000	40

このセミナーガイドに掲載されているコースには変更の可能性がありますので、最新情報は施設にお問い合わせください。

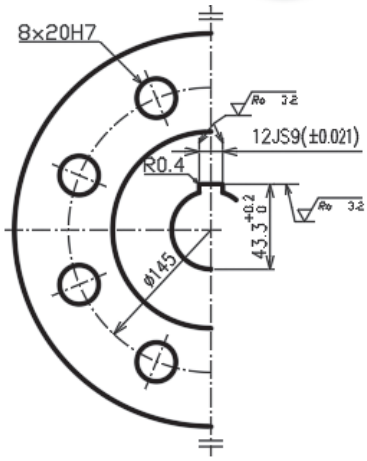
機械設計

コース No. 3M010

コース名　実践機械製図

受講料	12,500円	日程	4/13(土)、20(土)、21(日)
定員	10名	時間	9：00 ～ 16：00（計18時間）

主な使用機器	筆記用具
訓練内容	機械製図に必要な、立体図形の表し方（各種投影法）・各種図示法・寸法記入法などを知るとともに、はめあい・幾何公差・表面性状などの実践的な製図の知識を習得します。
	①ＪＩＳ規格 ②各種投影法 ③各種図示法 ④寸法記入法 ⑤寸法公差とはめあい ⑥幾何公差の考え方 ⑦表面性状のパラメータと解釈 ⑧作図実習



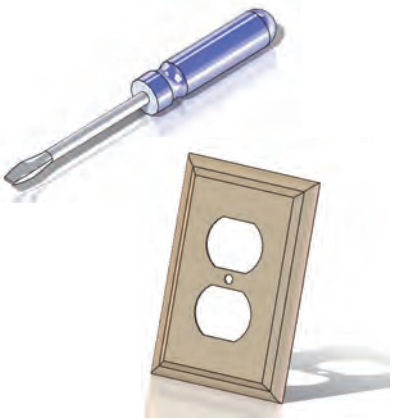
機械設計

コース No. 3M060

コース名　３次元 CAD を活用したソリッドモデリング技術

受講料	7,000 円	日程	5/25(土)、6/1(土)
定員	10名	時間	9：00 ～ 16：00（計12時間）

主な使用機器	パソコン、SOLIDWORKS2022
訓練内容	製品設計業務における生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたモデリング実習を通して、ソリッドモデル作成のポイントについて理解し、高品質な CAD データ作成方法を取得します。
	①3 次元 CAD 活用の事例 ②ソフトウェア基本操作 ③スケッチの作成 ④フィーチャーの作成 ⑤基本的な立体問題の演習 ⑥シェルフィーチャーの活用事例 ⑦まとめ



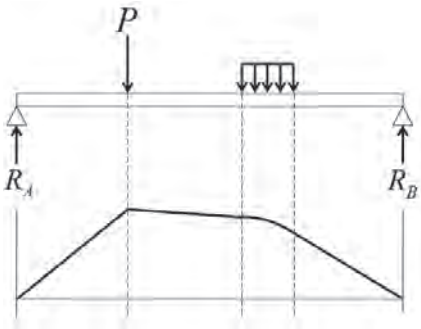
機械設計

コース No. 3M070

コース名　機械設計のための総合力学

受講料	11,500 円	日程	5/31(金)、6/7(金)
定員	10名	時間	9：00 ～ 17：30（計15時間）

主な使用機器	筆記用具、関数電卓
訓練内容	機械設計／機械製図の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた機械の力学や材料の強度設計、また機械要素設計（ねじ・軸・軸受・歯車）など詳細設計に必要な力学の全般を習得します。
	①機械の力学 ②材料の静的強度計算 ③機械要素設計（ねじ、軸、軸受け、歯車など） ④機械設計課題 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

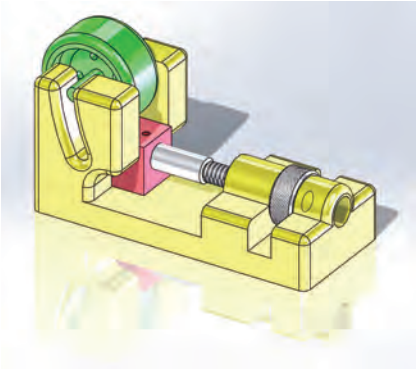
機械設計

コース No. 3M120

コース名 3次元 CAD を活用したアセンブリ技術

受講料	7,000 円	日程	6/29(土)、7/6(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、SOLIDWORKS2022
訓練内容	機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した検証実習を通して設計検討項目の検証方法を習得します。
	①3 次元 CAD におけるアセンブリ概要 ②実習問題（ボトムアップアセンブリ） ③実習問題（トップダウンアセンブリ） ④アセンブリ機能を活用した検証方法 ⑤まとめ



機械設計

コース No. 3M160

コース名 3次元 CAD を活用したサーフェスモデリング技術

受講料	7,000 円	日程	7/27(土)、8/3(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、SOLIDWORKS2022
訓練内容	製品設計する上で重要な「滑らかさ」・「連続性」・「曲線・曲面の評価方法」について理解し、生産現場に有効なサーフェスモデリング技術を習得します。
	①曲面形状部品の製品設計の流れ ②サーフェスモデリングの主要機能 ③自由曲面の作成と接続性および評価 ④課題実習 ⑤まとめ

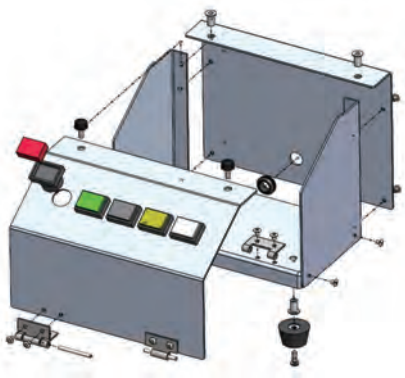
機械設計

コース No. 3M170

コース名 3次元 CAD を活用したアセンブリ技術（板金部品のアセンブリ）

受講料	7,000 円	日程	11/23(土)、30(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、SOLIDWORKS2022
訓練内容	機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、３次元 CAD を板金設計に応用する実習を通し、部品の図面化、組立、分解図など作成手法をを習得します。
	①アセンブリモデリング概要 ②合致定義と演習（ボトムアップアセンブリ） ③アセンブリ機能を活用した検証方法 ④アセンブリモデルの図面化 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

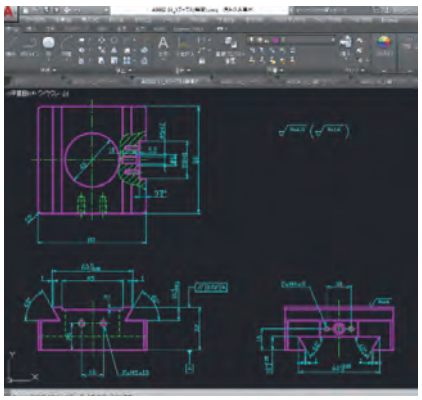
機械設計

コース No. 3M150

コース名　2 次元 CAD による機械製図技術

受講料	15,500 円	日程	8/31(土)、9/1(日)、7(土)、8(日)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 24 時間）

主な使用機器	AutoCAD 2023
訓練内容	2 次元 CAD を使用した、効果的かつ効率的図面作成手法について習得します。
	①概要 ②CAD 基本操作（作図、編集、寸法記入） ③各種設定（レイヤー設定、文字スタイル、寸法スタイルなど） ④製図効率を向上させるためのノウハウ ⑤図面作成実習 ⑥まとめ



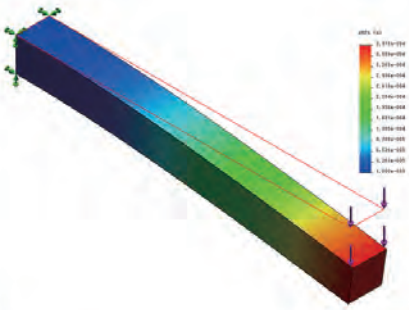
機械設計

NEW!　コース No. 3M280

コース名　設計者 CAE を活用した構造解析

受講料	7,500 円	日程	12/7(土)、14(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	3次元 CAD ／ CAE システム（SOLIDWORKS2022）、関数電卓
訓練内容	高精度・軽量化する製品開発の生産性の向上をめざして、構造の効率化、適正化、最適化（改善）に向けて、有限要素法の特徴を理解し、モデル化、境界条件設定、メッシュ分割による解析実習などを通して、構造設計における線形構造解析の活用、結果の評価法等を習得します。
	①設計と構造解析理論 ②有限要素法メッシュと精度 ③モデル化 ④各種物理現象（構造解析の分類、静解析と動解析） ⑤ソルバとは ⑥課題演習 ⑦まとめ



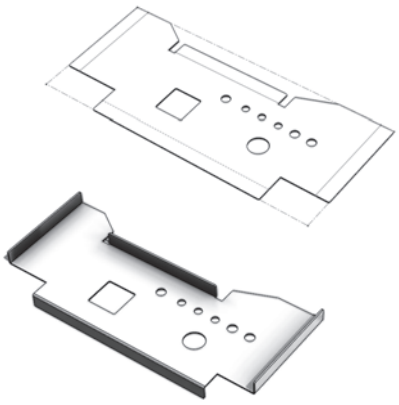
機械設計

NEW!　コース No. 3M290

コース名　板金製作を考慮した板金部品の設計技術（板金展開図の作成）

受講料	7,000 円	日程	2025/1/18(土)、25(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、SOLIDWORKS2022
訓練内容	製品企画／開発／デザインの生産性の向上をめざして、3 次元 CAD を板金設計に応用する実習を通して、設計上のポイントを考慮した板金部品設計技術（単品部品、組み立て部品の展開、展開図作成）を習得します。
	①板金部品の 3D モデリング手法 ②曲げ許容差と展開長補正 ③断面アプローチとシェルアプローチ ④板金部品の展開製図 ⑤板金部品設計実習 ⑥まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

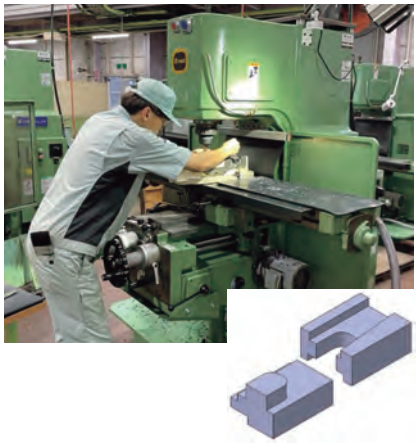
機械加工

コース No. 3M020

コース名　フライス盤加工技術

受講料	17,000 円	日程	5/11(土)、12(日)、18(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 18 時間）

主な使用機器	汎用フライス盤（エツキ　2MF-VBS）
訓練内容	フライス作業における効率化・高精度加工化をめざして、条件設定や加工法の検討・段取りの方法を、技能検定２級課題を題材とした加工実習を通して習得します。
	①概要 ②フライス加工における切削理論 ③正面フライス加工技術実習 ④勾配加工技術実習 ⑤総合課題実習 ⑥まとめ



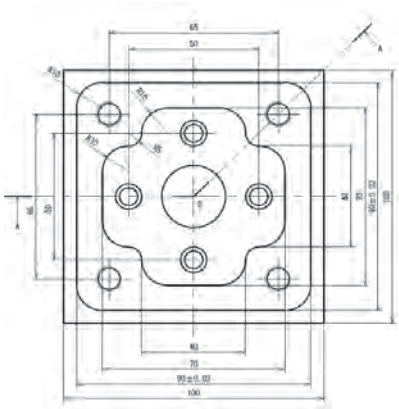
機械加工

コース No. 3M030

コース名　マシニングセンタプログラミング技術

受講料	9,000 円	日程	5/18(土)、25(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	マシニングセンタ（制御装置：FANUC）、パソコンなど
訓練内容	NC 機械加工の生産性の向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習とプログラムの検証を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などマシニングセンタ作業に関する技術を習得します。 ※これからマシニングセンタのプログラミング業務に携わる方向けのコースです。
	①各種機能 ②基本プログラムの習得 ③工具長オフセットと工具径オフセット ④サブプログラム ⑤固定サイクル ⑥プログラムパターン ⑦まとめ



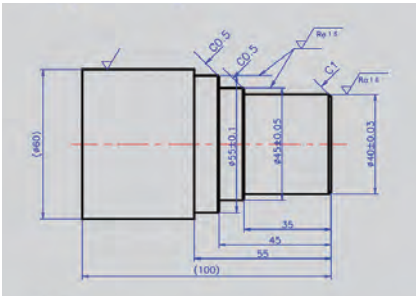
機械加工

コース No. 3M050

コース名　旋盤加工技術

受講料	10,500 円	日程	5/25(土)、26(日)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	普通旋盤（アマダワシノ　LEO80A）、各種バイト、測定器具
訓練内容	部品加工や治工具製作における旋盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的な旋盤作業（外径切削）に関する問題解決能力を習得します。
	①概要 ②機械操作 ③切削条件設定について ④旋盤加工 ⑤仕上げ面精度の確認・評価 ⑥まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

機械加工

コース No. 3M090

コース名 【匠塾】旋盤加工応用技術＜旋盤作業における高度熟練技術＞

受講料	22,500 円	日程	6/8(土)、15(土)、22(土)、29(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 24 時間）

主な使用機器	普通旋盤（アマダワシノ　LE080A)、各種バイト、測定器具
訓練内容	部品加工や治工具製作における旋盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的な旋盤作業（内外径･溝･ねじ切削）に関する問題解決能力を習得します。 【旋盤加工技術】コースの受講後または同等の知識技能を習得済みが望ましいです。
	①切削加工概論 ②芯だし作業 ③高精度部品の加工工程 ④精密加工実習 ⑤仕上げ面精度の確認・評価 ⑥まとめ ＊北九州マイスターが講師として実施するコースです。

機械加工

コース No. 3M080

コース名 【匠塾】機械組立仕上げのテクニック＜手仕上げ作業における高度熟練技術＞

受講料	17,000 円	日程	6/15(土)、22(土)、29(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 18 時間）

主な使用機器	やすり各種、測定器、摺り合わせ定盤など
訓練内容	仕上げ加工の現場力強化及び技能継承をめざして、機械部品の平面仕上げ・組立・調整実習を通して、高精度な機械組立仕上げのテクニックを習得します。課題には、技能検定 2 級【機械組立仕上げ】を用います。 ※受講希望される方で、技能検定２級ロット部品のやすり仕上げ（平面・直角だし）を未修得の方は事前にご連絡ください。
	①やすりの基本 ②やすりの修正 ③加工工程の検討 ④平面、直角仕上げ ⑤きさげ仕上げ ⑥組立調整 ⑦まとめ ＊北九州マイスターが講師として実施するコースです。

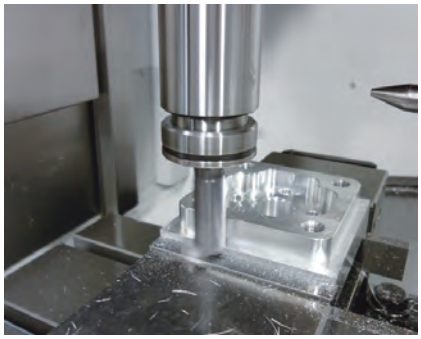
機械加工

コース No. 3M110

コース名 マシニングセンタ加工技術

受講料	12,500 円	日程	6/22(土)、23(日)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	マシニングセンタ（制御装置：OSP)、各種切削工具、測定器具一式、パソコンなど
訓練内容	NC 機械加工の生産性向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた加工実習を通して、高精度･高能率技能･技術を習得します。 ※これからマシニングセンタの加工業務に携わる方向けのコースです。
	①段取り作業のポイント ②ツーリングの段取り作業 ③加工物の芯だしと位置決め ④固定サイクルの効果的な活用について ⑤加工精度とサイクルタイムについて ⑥まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

機械加工

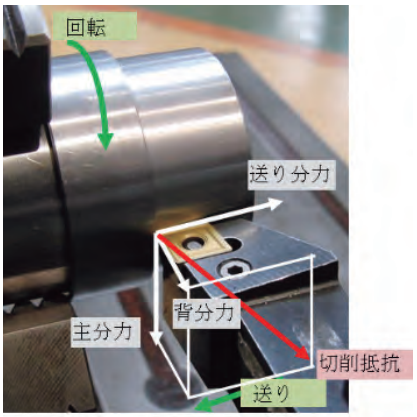
NEW!

コース No. 3M180

コース名　切削加工の理論と実際

受講料	8,000 円	日程	9/6(金)、13(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	汎用旋盤、汎用フライス盤、半自動フライス盤、切削動力計、表面粗さ測定器　等
訓練内容	機械加工の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた切削検証実習を通して、機械加工の理論と実際との相違点を理解し、生産現場における問題解決を図ることができる能力を習得します。
	①切削加工の３条件 ②被削材料と工具材料の特性 ③構成刃先、仕上げ面粗さについて ④工具形状と工具損傷について ⑤切削検証実習（旋削加工、転削加工） ⑥まとめ



機械加工

コース No. 3M200

コース名　NC 旋盤プログラミング技術

受講料	7,500 円	日程	9/7(土)、14(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	NC 旋盤（制御装置：FANUC）、各種切削工具、測定器具一式、パソコンなど
訓練内容	与えられた図面に基づき、要求される条件を満足するためのプログラム及び補正量の設定方法などについて、技能検定 2 級課題を題材としたプログラミング実習を通して、NC プログラムの作成方法を習得します。
	①主要な NC コード ②複合固定サイクル ③課題図と加工例の解説 ④工具選定と切削条件 ⑤プログラミング実習 ⑥まとめ

機械加工

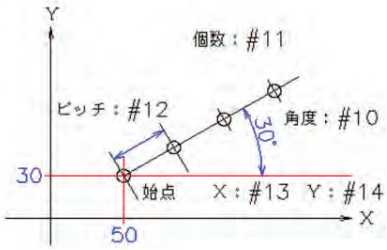
NEW!

コース No. 3M220

コース名　カスタムマクロによる NC プログラミング技術

受講料	10,500 円	日程	10/7(月)、9(水)、11(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 18時間）

主な使用機器	ロボドリル　制御装置（FANAC）
訓練内容	NC 機械加工の生産性の向上をめざして、効率化に向けたプログラム作成実習を通して、NC のカスタムマクロを理解し、段取りや加工を効率的に行うためのプログラミングの手法を習得します。
	①概要 ②カスタムマクロとは ③プログラミング機能 （各変数の特徴と使用方法） ④システム変数の種類と使用方法 ⑤マクロプログラム呼び出し ⑥課題演習 ⑦まとめ




```
O341(MACRO)
#10=30.0
#11=4.0
#12=20.0
#13=50.0
#14=30.0
#1=1
G90X#13Y#14
WHILE[#1LT#11]DO1
#24=[#1*#12]*COS[#10]+#13
#25=[#1*#12]*SIN[#10]+#14
X#24Y#25
#1=#1+1
END1
M99
```

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

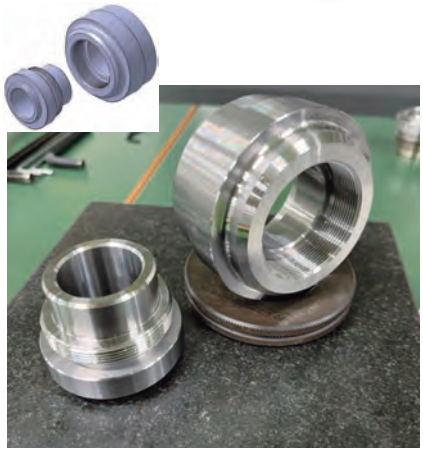
機械加工

コース No. 3M240

コース名　NC 旋盤加工技術

受講料	9,000 円	日　程	10/19(土)、26(土)
定　員	10 名	時　間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	NC 旋盤（制御装置：FANUC）、各種切削工具、測定器具一式、パソコンなど
訓練内容	部品加工の製造現場において、与えられた図面や生産条件に基づき、要求される条件を満足するための加工方法について、技能検定 2 級課題を題材とした加工実習を通して習得する。
	①加工の段取り ②補正値の設定 ③プログラムチェック ④生爪成形 ⑤加工実習 ⑥まとめ



金属加工／成形加工

コース No. 3M130

コース名　プレス加工技術＜プレス加工のトラブル対策＞

受講料	8,500 円	日　程	6/29(土)、7/6(土)
定　員	10 名	時　間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	プレス機械、プレス金型、プレス加工実験装置
訓練内容	プレス加工の生産性の向上をめざして、潜在している問題点を明確にし、効率化、最適化、トラブル対策について習得します。
	①せん断加工の理論と問題について ②曲げ加工の理論と問題について ③絞り加工の理論と問題について ④プレス機械と周辺機器についいて ⑤トラブルの諸要因について ⑥トラブル対策について

測定・検査

コース No. 3M250

コース名　精密測定技術（長さ測定編）

受講料	6,500 円	日　程	8/2(金)、3(土)
定　員	10 名	時　間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	各種測定機器、ブロックゲージなど
訓練内容	機械・精密測定 / 機械検査の生産性向上をめざして、測定器の正しい取扱いと測定法を習得します。
	①測定の重要性 ②測定誤差の原因と対策 ③測定器の精度と特性 ④ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージでの測定法 ⑤ブロックゲージの取り扱い ⑥測定器の定期検査 ⑦まとめ

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

測定・検査

コース No. 3M210

コース名 精密測定技術（機械検査編）

受講料	7,500 円	日程	12/6(金)、13(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	ノギス、マイクロメータ、歯圧マイクロメータ、サンプルワーク　等
訓練内容	機械・精密測定 / 機械検査の生産性向上をめざして、各測定器（外マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ、シリンダーゲージ、歯圧マイクロメータ）を用いてサンプルワークの寸法測定技能を習得します。測定に必要となる際の段取り方法、測定方法についても習得します。 ※技能検定機械検査２級のサンプルを課題として行います。
	①測定の重要性 ②各種測定器による寸法測定、器差測定 ③歯車のまたぎ歯圧測定、三針による有効径測定 ④段取り方法、測定方法の検討 ⑤まとめ

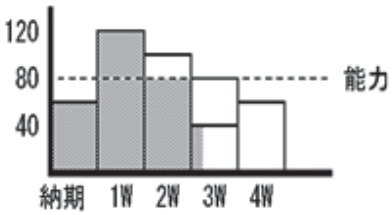
工場管理

コース No. 3M100

コース名 製造現場における工程管理技法と改善

受講料	9,000 円	日程	6/18(火)、19(水)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	電卓
訓練内容	生産現場における生産工程の最適化・効率化及び改善をめざして、自社の生産現場の現状を踏まえた工程を管理する手法について習得します。
	①コース概要と留意事項 ②工場生産のしくみと生産計画 ③工程管理と進度管理 ④工程管理手法による実践的課題実習 ⑤まとめ



工場管理

NEW!

コース No. 3M140

コース名 QC７つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

受講料	9,000 円	日程	7/11(木)、12(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	電卓
訓練内容	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製造現場で発生する問題について演習を通して、QC７つ道具を使用して、定量的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②品質管理 ③製造業における定量的な問題の解決技法 ④総合演習 ⑤まとめ

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

工場管理

コース No. 3M190

コース名 製造現場の業務改善のための問題解決技法＜現場の問題を捉えるための“眼”を養う＞

受講料	11,000 円	日程	9/5(木)、6(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製造現場の諸問題の解決のための進め方・考え方について習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②製造現場の問題解決とは ③問題発見のポイント ④原因の究明対策の実施 ⑤業務改善の進め方 ⑥総合演習 ⑦まとめ

工場管理

コース No. 3M230

コース名 生産現場における現場改善技法

受講料	9,000 円	日程	10/17(木)、18(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産現場に発生する問題点の分析や改善のための手法及び生産効率を向上させるため現場改善（作業改善）の技法を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②生産現場の作業改善 ③生産現場の環境改善 ④生産現場の工程改善 ⑤作業分析手法と改善効果測定 ⑥実践的課題実習

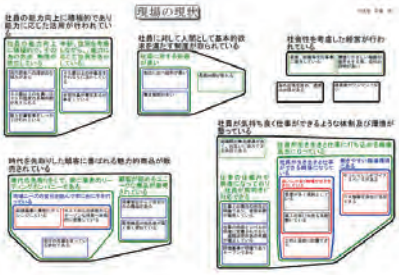
工場管理

コース No. 3M260

コース名 生産現場に活かす品質管理技法 ＜改善対象に合わせた技法活用力を養成＞

受講料	11,000 円	日程	11/7(木)、8(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	電卓
訓練内容	生産現場において、生産性の効率化・最適化をめざして、科学的管理手法として統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。
	①コース概要と留意事項 ②品質管理概要 ③統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上 ④生産現場に活用できる応用課題実習 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

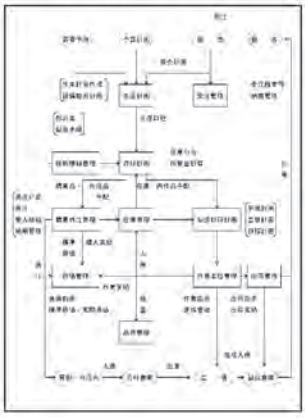
工場管理

コース No. 3M270

コース名 製造業におけるコストダウン実践法<現場コストを要因と結果で考える>

受講料	11,000 円	日程	12/5(木)、6(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	生産現場における生産性向上や生産工程の低コスト化、効率化をめざして、生産現場に発生する問題点をコストに絞った視点でとらえ、テーマ別に改善する具体的方策を探し出す手順や解決法を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②製造業におけるコストダウンの進め方 ③実践的な管理の進め方 ④製造業における改善ポイントの考え方 ⑤コストダウンを実践する課題実習 ⑥まとめ



教育訓練

コース No. 3M040

コース名 5S によるムダ取り・改善の進め方

受講料	9,000 円	日程	5/21(火)、22(水)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	指導技法の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、診断・予防保全に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②5S 推進による現場の改善 ③ムダ取りの実践による現場改善 ④現場改善のための指導技法 ⑤まとめ

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

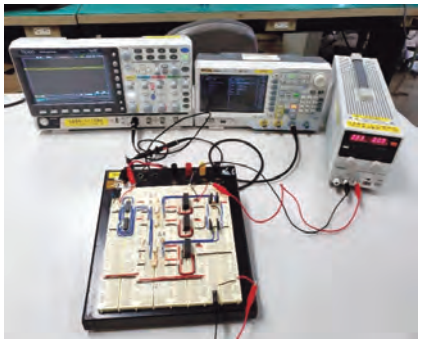
測定・検査

コース No. 3D310

コース名 電子回路の計測技術＜テスタ、オシロスコープ編＞

受講料	7,500 円	日程	11/16(土)、17(日)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	テスタ、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ（信号発生器）
訓練内容	代表的な電子計測機器であるテスタ、オシロスコープの効果的な計測技術を、アナログ回路、ディジタル回路の製作・測定実習を通して習得します。
	①回路計測の概要 ②計器の校正 ③電子回路の検証と計測 ④波形観測 ⑤まとめ



電子回路設計

コース No. 3D060

コース名 オペアンプ回路の設計・評価技術

受講料	9,000 円	日程	6/10(月)、11(火)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	直流電源、オシロスコープ、マルチメータ、回路シミュレータ
訓練内容	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたシミュレーションや計測結果による検証を通して、オペアンプ回路の設計技術とその評価技術を習得します。
	①オペアンプの知識 ②オペアンプ利用回路の知識 ③オペアンプ利用回路の設計方法（増幅回路、微分･積分回路、コンパレータ回路） ④オペアンプ回路の設計・評価実習（回路設計、回路製作、動作確認と特性の測定） ⑤まとめ

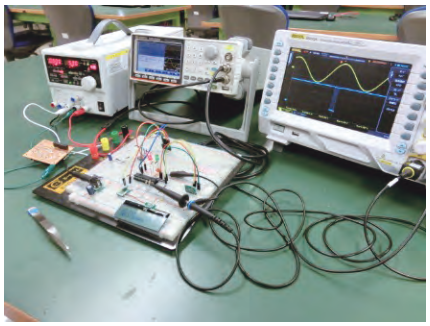
電子回路設計

コース No. 3D080

コース名 トランジスタ回路の設計・評価技術

受講料	8,000 円	日程	6/15(土)、22(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、直流電源、オシロスコープ他
訓練内容	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けたシミュレーションや計測結果による検証を通して、トランジスタ回路の設計技術とその評価技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②トランジスタの知識 ③トランジスタ利用回路の知識 ④トランジスタ利用回路の設計方法 ⑤トランジスタ回路の設計・評価実習



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

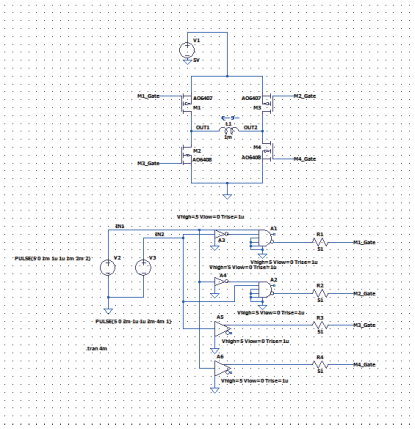
電子回路設計

コース No. 3D160

コース名　FET 回路の設計・評価技術

受講料	10,000 円	日程	8/1(木)、2(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、回路シミュレータ、直流電源、テスタ他
訓練内容	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた、シミュレーションや計測結果による検証を通して、FET 回路の設計技術とその評価技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②FET の知識 ③リニア･モードの回路 ④スイッチ・モードの回路 ⑤FET 回路の設計・評価実習 ⑥まとめ



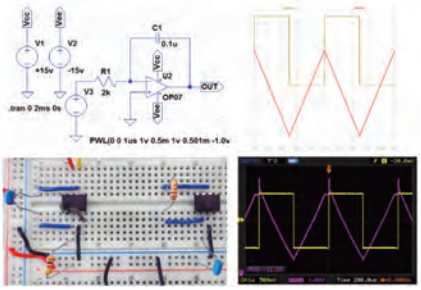
電子回路設計

コース No. 3D190

コース名　シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術〈LTspice 編〉

受講料	9,000 円	日程	8/26(月)、27(火)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	フリーソフト LTspice、直流電源、各種計測器他
訓練内容	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けたシミュレーションや計測結果による検証を通して、電子機器の開発・試作時に必要となる実用的なオペアンプ回路の設計技術や評価技術を実践的に習得します。
	①回路シミュレータの概要 ②オペアンプ回路の動作と特性 ③各種応用回路 ④負帰還 ⑤オペアンプ回路設計実習 ⑥まとめ



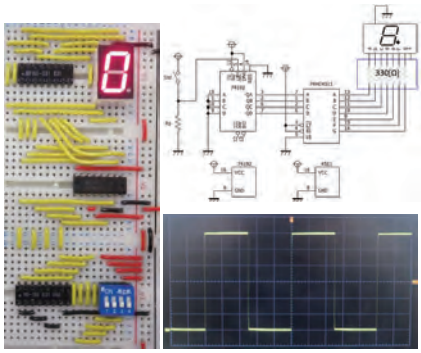
電子回路設計

NEW!　コース No. 3D200

コース名　ディジタル回路設計技術

受講料	8,000 円	日程	8/31(土)、9/7(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	オシロスコープ、パルス発振器、安定化電源装置、IC 及び電子部品、工具一式
訓練内容	ディジタル回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた組み合わせ回路や順序回路の製作実習を通して、ディジタル回路設計技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②論理台数と論理回路の確認 ③ディジタル回路のハードウェア ④組み合わせ論理回路 ⑤順序回路 ⑥ディジタル回路の設計・評価実習 ⑦まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

電子回路設計

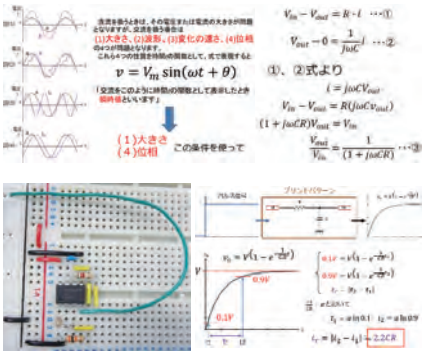
NEW!

コース No. 3D230

コース名　理論的アプローチによる回路設計の勘どころ

受講料	8,000 円	日程	9/14(土)、21(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ他
訓練内容	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた理論と実回路による検証実習を通して、実用的なアナログ回路の設計技術とその評価技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②抵抗回路網の理論と実際 ③交流回路の理論と実際 ④過渡現象の設計と評価 ⑤回路理論を用いた設計と評価 ⑥各種回路作成と回路理論 ⑦まとめ



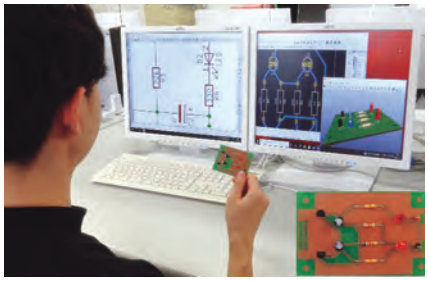
電子回路設計

コース No. 3D240

コース名　プリント基板設計技術〈KiCad 編〉

受講料	8,000 円	日程	9/28(土)、10/5(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	フリーソフト KiCad、エッチング装置
訓練内容	プリント基板設計のポイントや基板製作の工程及び電子系 CAD の活用法といった基板設計に必要な技術を習得します。（セミナーで設計・製作したプリント基板はお持ち帰りいただけます。）
	①プリント基板の基礎知識 ②回路図作成工程 ③プリント基板製作 ④プリント基板で使用する部品関連工程 ⑤結線処理 ⑥アートワークの確認・評価 ⑦エッチング技法 ⑧まとめ



電子回路設計

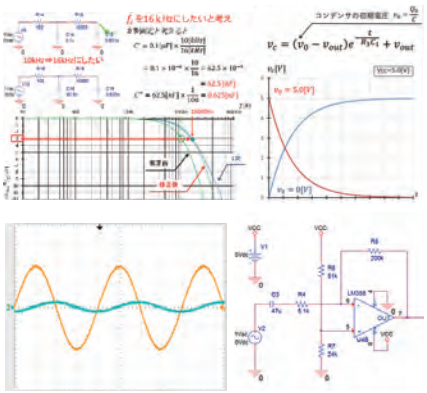
NEW!

コース No. 3D320

コース名　アナログフィルタ回路設計・評価技術

受講料	7,500 円	日程	~~11/16(土)、23(土)~~ 11/9（土）、11/16（土）
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ他
訓練内容	アナログ回路設計における生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた理論と実回路による検証実習を通して、最適な電子回路素子の選定といった実用的なアナログ回路の設計技術とその評価技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②アナログフィルタの種類 ③入力波形解析 ④フィルタの設計・評価実習 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

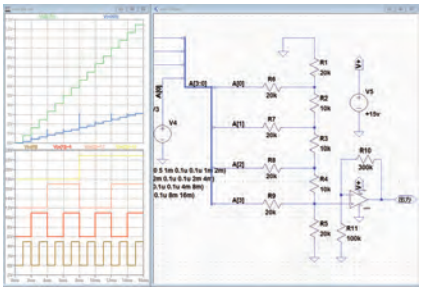
電子回路設計

コース No. 3D330

コース名 回路シミュレータで広がる電子回路設計技術〈LTspice 編〉

受講料	8,500 円	日程	11/25(月)、26(火)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	フリーソフト LTspice、直流電源、各種計測器他
訓練内容	電子回路の設計・開発工程の効率化・最適化をめざして、シミュレータを活用した電子回路設計技術を習得します。
	①回路シミュレータの概要 ②解析方法とその利用法（DC 解析、AC 解析、過渡解析） ③応用解析（パラメトリック解析、階層設計デザイン） ④デジタル・アナログ混在回路の解析（D/A 変換回路の設計） ⑤実用回路の解析 ⑥まとめ



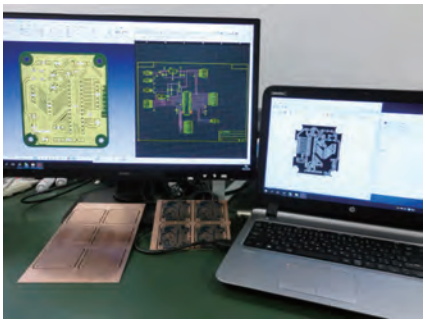
電子回路設計

コース No. 3D380

コース名 プリント基板設計技術〈Zuken 編〉

受講料	8,000 円	日程	2025/1/18(土)、25(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	Zuken CR-8000、エッチング装置他
訓練内容	プリント基板設計のポイントや基板製作の工程及び電子系ＣＡＤの活用法といった基板設計に必要な技術を習得します。（セミナーで設計・製作したプリント基板はお持ち帰りいただけます。）
	①プリント基板の基礎知識 ②回路図作成工程 ③プリント基板製作 ④プリント基板で使用する部品関連工程 ⑤結線処理 ⑥アートワークの確認・評価 ⑦エッチング技法 ⑧まとめ



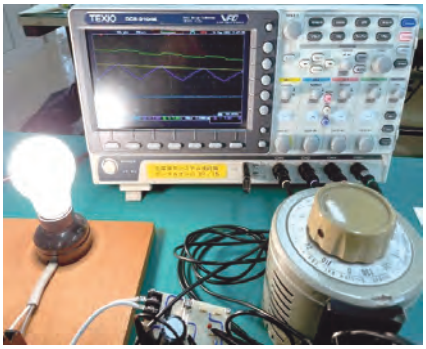
パワーエレクトロニクス回路設計

コース No. 3D100

コース名 パワー・デバイス回路設計技術

受講料	7,500 円	日程	7/6(土)、7(日)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	直流安定化電源、ファンクションジェネレータ、オシロスコープ、パワー半導体デバイス（サイリスタ、IGBT 等）
訓練内容	パワー半導体デバイスの特性を実験を通して学びます。パワーエレクトロニクスにおいては、小信号を扱う電子回路と違い、損失を減らすことが求められる為、スイッチング動作が基本となります。実験を通してリニア動作とスイッチング動作の違いを確認します。
	①パワー半導体デバイスの概要 ②パワー半導体デバイスの種類 ③制御回路設計と検証 ④応用回路 (調光回路やインバータ回路) ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D020

コース名 組込み技術者のためのプログラミング

受講料	8,000 円	日程	5/18(土)、25(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	RL78/G14 マイコンボード、e²studio 他
訓練内容	組込みシステムの改善や業務の効率化をめざして、マイコンの構造・機能を理解し、入出力回路の設計と C 言語による制御技法を習得します。
	①マイコンの構造・機能と開発環境 ②出力回路設計と C 言語による制御 ③入力回路設計と C 言語による制御 ④応用課題とまとめ

制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D040

コース名 組込みシステムにおけるプログラム開発技術

受講料	8,000 円	日程	6/1(土)、8(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	RL78/G14 マイコンボード、e²studio 他
訓練内容	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、タイマ機能や例外処理機能、シリアルコミュニケーションインタフェース、A/D 変換器といった各種マイコン周辺機能の利用方法を習得します。
	①C 言語開発環境 ②タイマ機能 ③例外処理機能 ④A/D 変換器 ⑤シリアルコミュニケーションインターフェース ⑥周辺機能を用いたプログラミング実習とまとめ

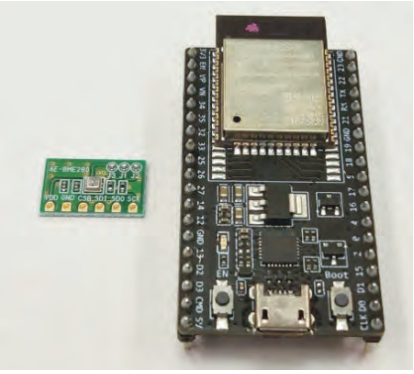
制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D090

コース名 センサを活用した IoT アプリケーション開発技術

受講料	10,000 円	日程	6/29(土)、7/6(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	マイコンボード、センサ他
訓練内容	組み込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたセンサネットワークプログラミングやクラウドサービスを利用したプログラミング実習を通して IoT アプリケーション開発技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②クラウド技術と IoT ③IoT の活用事例 ④センサネットワーク技術 ⑤環境モニタリング実習 ⑥まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

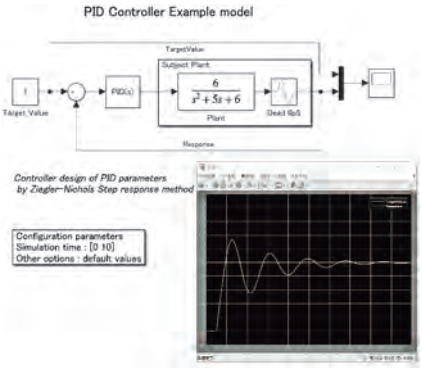
制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D120

コース名 自動制御の理論と実際

受講料	13,500 円	日程	7/25(木)、26(金)
定員	13 名	時間	9：00 ～ 16：45（計 14 時間）

主な使用機器	数値解析ソフト (MATLAB/Simulink)、PID コントロール基板
訓練内容	自動制御理論から制御システムを構築する際に必要な一連の知識、制御対象のステップ応答法、PID 演算アルゴリズムなどについて解説します。MATLAB/Simulink の制御系における基本的な使い方を習得します。
訓練内容	①自動制御の概要とモデル化、伝達関数 ②制御シミュレータの概要 ③プロセスの PID 制御 ④安定判別・最適調整 ⑤制御系設計・シミュレーション ⑥まとめ 担当講師（予定） スマートインプリメント株式会社



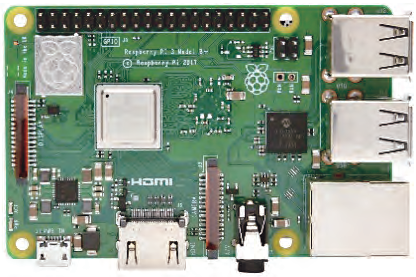
制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D130

コース名 IoT 機器を活用した組込みシステム開発技術

受講料	11,000 円	日程	7/29(月)、30(火)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 17：00（計 14 時間）

主な使用機器	シングルボードコンピュータ（Raspberry Pi）他
訓練内容	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けた IoT 機器における組込みシステムプログラミング技術の習得を行います。
訓練内容	①組込みシステムと IoT ②開発環境の構築と Python 言語の概要 ③GPIO 制御プログラム ④I2C デバイス制御プログラム ⑤Web から遠隔操作プログラム ⑥クラウドサービス・SNS との連携プログラム ⑦まとめ



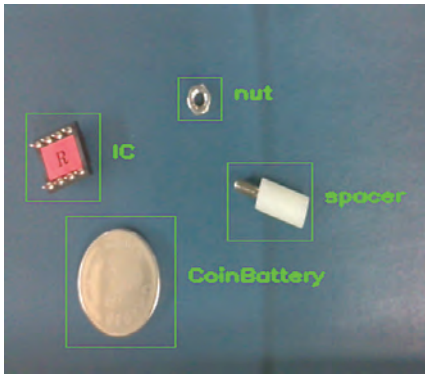
制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D180

コース名 AI 活用による画像認識システムの開発

受講料	10,000 円	日程	8/19(月)、20(火)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	Ai コンピュータ、USB カメラ、Python 開発環境（ローカル・アノテーションツール、画像処理ライブラリ、機械学習フレームワーク）
訓練内容	画像処理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた AI による画像処理システム開発実習を通して、AI による画像認識技術を習得します。
訓練内容	①AI・機械学習・ディープラーニングの概要 ②Python プログラミングと機械学習のワークフロー ③データの収集とアノテーション、学習とモデルの作成、学習結果の評価 ④機械学習によるリアルタイム物体認識システムの開発 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

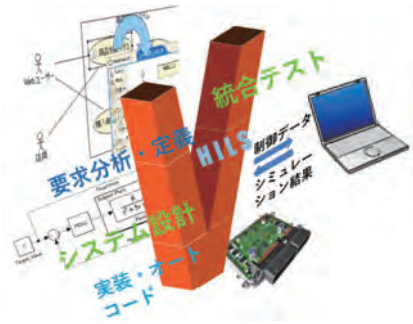
NEW!

コース No. 3D400

コース名 数値解析ソフトによるモデルベースデザイン導入技術

受講料	13,500 円	日程	9/5(木)、6(金)
定員	12 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン一式、MATLAB/Simulink
訓練内容	機械制御系のマイコン制御設計／パソコン制御設計の生産性の向上をめざして、制御設計モデルの作成をワイパーの駆動系設計・検証を通してモデルベースデザインによる設計手法を習得します。
	①モデルベース開発 ②GUI 環境によるモデル作成 ③ブロックプログラム実習 ④コントローラ設計概要 ⑤制御系設計実習 ⑥まとめ 担当講師（予定） スマートインプリメント株式会社



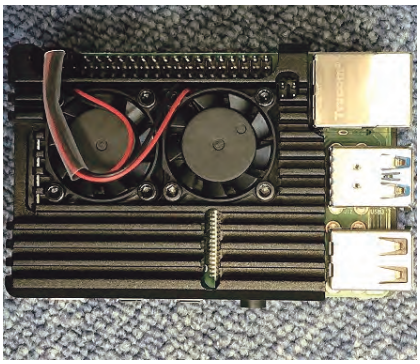
制御システム設計【マイコン・組込み・自動制御】

コース No. 3D360

コース名 組込み Linux によるネットワークプログラミング技術

受講料	8,000 円	日程	12/7(土)、14(土)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、シングルボードコンピュータ他
訓練内容	シングルボードコンピュータを使った C 言語によるソケットプログラミングを通して、通信プロトコル、伝送手順、通信に関する実装技術を基本から習得します。
	①コース概要＆留意事項 ②TCP/IP 概要 ③ソケットプログラミング実習 ④通信システム構築実習 ⑤まとめ



制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D010

コース名 有接点シーケンス制御の実践技術

受講料	10,000 円	日程	4/24(水)、25(木)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	自作シーケンスボード、各種制御機器、テスター、工具一式
訓練内容	自動生産システムの効率化・最適化をめざして、各種制御機器の選定方法、各種制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・製作方法を習得します。
	①概要 ②各種制御機器の種類と接続方法 ③主回路と制御回路 ④総合課題 ⑤まとめ

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

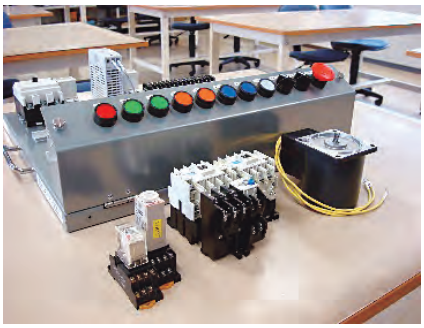
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D030

コース名 シーケンス制御による電動機制御技術

受講料	8,000 円	日程	5/21(火)、22(水)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	自作シーケンスボード、各種制御機器、テスター、工具一式
訓練内容	有接点シーケンス制御を用いた電動機の制御方法について、実習を通して知識・技術を習得します。
	①電動機の概要 ②直入れ運転回路 ③正逆運転回路 ④Y-Δ運転回路 ⑤まとめ



制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D070

コース名 PLC プログラミング技術（ラダー編）

受講料	8,000 円	日程	6/11(火)、12(水)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（Q03UDCPU）、GX Works2
訓練内容	PLC（プログラマブルロジックコントローラ）の概要および回路（ラダー図）の作成方法など実習を通して習得します。
	①PLC の概要 ②ハードウェアの配線 ③プログラミングツールの使い方 ④ラダー図による回路設計 ・基本命令、比較命令等 ⑤総合課題実習 ⑥まとめ

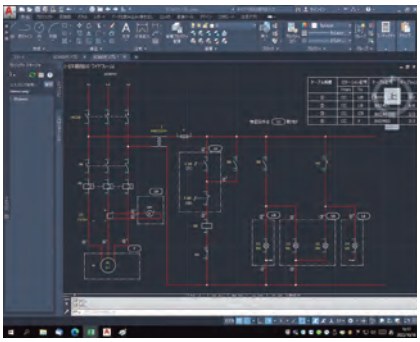
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D110

コース名 電気設計 CAD を活用した制御盤設計技術

受講料	8,000 円	日程	~~7/23(火)、24(水)~~11/23（土）、24（日）
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	AutoCAD Electrical
訓練内容	制御盤・配電盤の設計に必要な外形図、展開接続図の作成を通して、CAD による設計技術について習得します。
	①電気製図の概要 ②外形図の作成 ③展開接続図の作成 （シンボル挿入、線番号の付加等） ④回路図を利用した機器配置図 ⑤部品表の挿入およびファイル化 ⑥プロジェクトのパブリッシュ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

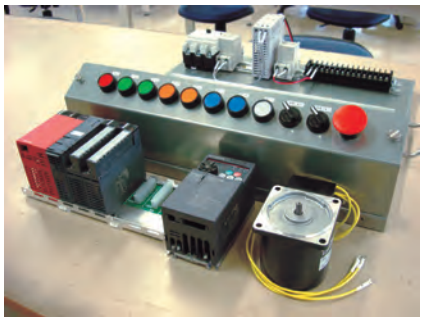
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D140

コース名 PLC によるインバータ制御技術

受講料	11,000 円	日程	7/30(火)、31(水)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（Q03UDCPU）、GX Works2、汎用インバータ装置（三菱電機）
訓練内容	インバータの原理やインバータ駆動時のモータ特性等、インバータに関する専門知識を習得するとともに、インバータ運転の実習を通して、モータの制御技術を習得します。
	①インバータの概要 ②PLC プログラム ③総合実習



制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D210

コース名 PLC 制御の応用技術

受講料	8,500 円	日程	~~9/4(水)、5(木)~~ 9/18（水）、9/19（木）
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（Q03UDCPU）、GX Works2
訓練内容	PLC（プログラマブルロジックコントローラ）の数値処理命令および高機能ユニット（A/D 変換）の取り扱いなど実習を通して習得します。
	①PLC の概要 ②数値データの取り扱い ③プログラミングツールの使い方 ④数値処理命令 ⑤高機能ユニット（A/D 変換）の取り扱い ⑥総合課題実習 ⑦まとめ

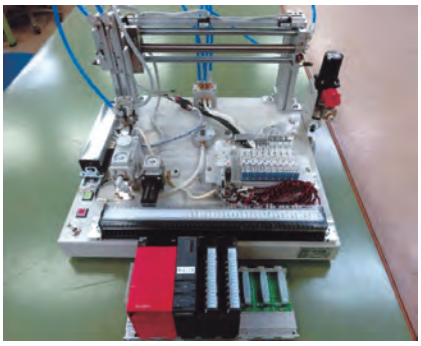
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D220

コース名 PLC による電気空気圧技術

受講料	8,000 円	日程	9/12(木)、13(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（Q03UDCPU）、GX Works2、空気圧機器
訓練内容	PLC による空気圧機器の制御を行います。空気圧機器の動作原理を学び、空気圧機器の動作を切り替える電磁弁を制御する方法を習得します。
	①空気圧機器の構成 ②空気圧機器の速度制御 ③PLC 制御の概要、配線 ④ラダー作成方法 ⑤順序動作、繰り返し動作のプログラミング ⑥電磁弁種類と特徴 ⑦空気圧機器による搬送動作の制御



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

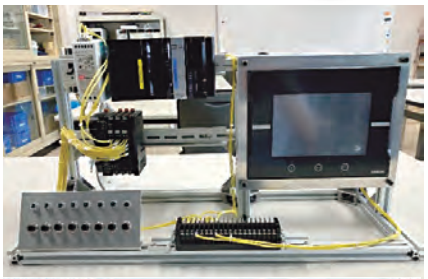
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

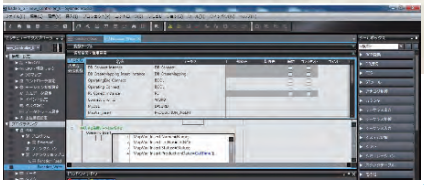
コース No. 3D250

コース名 PLC プログラミング技術（IEC 準拠編）

受講料	9,000 円	日程	10/9(水)、10(木)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（オムロン製 NJ シリーズ）、Sysmac Studio
訓練内容	シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた自動制御システム制作実習を通して、IEC 準拠のプログラムである ST 言語や FDB を利用した制御プログラムの実務能力を習得します。
	①IEC 準拠 PLC プログラミングの概要 ②ST 言語を活用したプログラミング ③FBD によるプログラムの部品化 ④自動制御システム実習 ⑤まとめ ※本コースはオムロン製 NJ シリーズで実施します





制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D260

コース名 有接点シーケンス制御の実践技術

受講料	10,000 円	日程	10/16(水)、17(木)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	自作シーケンスボード、各種制御機器、テスター、工具一式
訓練内容	自動生産システムの効率化・最適化をめざして、各種制御機器の選定方法、各種制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・製作方法を習得します。
	①概要 ②各種制御機器の種類と接続方法 ③主回路と制御回路 ④総合課題 ⑤まとめ

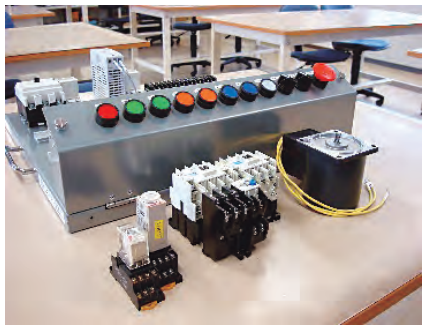
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D270

コース名 シーケンス制御による電動機制御技術

受講料	8,000 円	日程	10/23(水)、24(木)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	自作シーケンスボード、各種制御機器、テスター、工具一式
訓練内容	有接点シーケンス制御を用いた電動機の制御方法について、実習を通して知識・技術を習得します。
	①電動機の概要 ②直入れ運転回路 ③正逆運転回路 ④時限運転回路 ⑤Y-Δ運転回路 ⑥まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

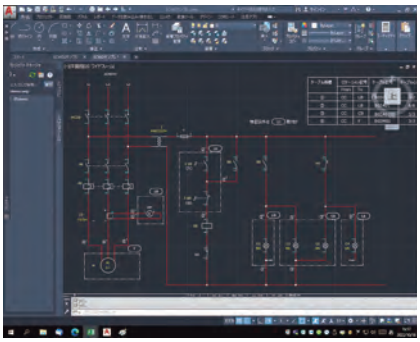
NEW!

コース No. 3D390

コース名 電気設計 CAD を活用した制御盤設計技術（応用編）

受講料	8,000 円	日程	10/24(木)、25(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	AutoCAD Electrical
訓練内容	制御盤・配電盤の設計に必要な外形図、展開接続図の作成を通して、CAD による設計技術について習得します。
	①電気製図の概要 ②図枠のカスタマイズ ③シンボル登録 ④部品のカタログデータベース登録 ⑤制御盤・配電盤設計実習 ⑥まとめ



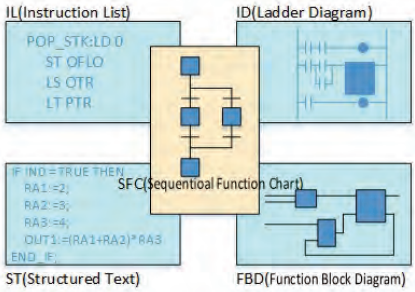
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D370

コース名 PLC プログラミング技術 (ST 言語編)

受講料	9,000 円	日程	10/30(水)、31(木)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（Q03UDCPU）、GX Works2
訓練内容	PLC（プログラマブルロジックコントローラ）における IEC61131－3 で規定されるプログラムを理解するとともに、ST 言語および FBD のプログラミングなど実習を通して習得します。
	①IEC 準拠 PLC プログラミングの概要 ②ST 言語を活用したプログラミング ③FBD によるプログラムの部品化 ④プログラミング実習 ⑤まとめ



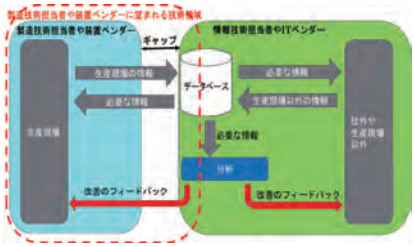
制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D300

コース名 PLC による FA ネットワーク構築技術
〈EtherCAT、EtherNetIP、データベース接続編〉

受講料	9,500 円	日程	11/14(木)、15(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（オムロン製 NJ シリーズ）、Sysmac Studio、DB サーバー（SQL Server）
訓練内容	シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたネットワーク構築実習を通して、PLC のコントローラ系ネットワーク、フィールド系ネットワークならびにデータベースとの連携の構築技術を習得します。
	①FA ネットワークの概要 ②フィールド系ネットワーク（EtherCAT） ③コントローラ系ネットワーク（EtherNet/IP） ④PLC とデータベースとの連携 （簡単なデータベースサーバーの使い方も実習します） ⑤総合課題



※本コースはオムロン製 NJ シリーズで実施します

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

制御システム設計【工場自動化技術（FA）】

コース No. 3D350

コース名 電動機のインバータ活用技術

受講料	8,500 円	日程	12/7(土)、8(日)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	汎用インバータ（三菱電機）、三相誘導電動機、各種制御機器、テスター
訓練内容	インバータの原理や特性・設定パラメータなどの知識を習得するとともに、インバータによる三相誘導モータ制御の配線・運転実習を通してインバータの活用技術を習得します。
	①インバータ運転の概要 ②インバータの機器配線設計 ③インバータの配線作業 ④インバータ制御実習 ⑤まとめ

機器組立／システム組立

コース No. 3D050

コース名 制御盤製作技術

受講料	10,000 円	日程	~~6/1(土)、2(日)~~12/14（土）、12/15（日）
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	ハンドドリル、ダクトカッター、各種制御機器（リレー、タイマ）、テスターなど
訓練内容	制御盤中板の穴あけ加工（ハンドドリル使用）から、ダクト配線、束配線、扉部の電線処理など、実際の制御盤を製作しながら、その製作技術を習得します。
	①シーケンス制御の概要（今回の仕様） ②端子番号、線番号など ③ダクト・DIN レール加工 ④配線作業及び試運転 ⑤まとめ

機器組立／システム組立

コース No. 3D150

コース名 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

受講料	15,500 円	日程	8/1(木)、2(金)
定員	12 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	はんだこて（HAKKO FX-951）、顕微鏡
訓練内容	鉛フリーはんだを使用した手はんだ付け作業における鉛フリー化による問題の解決と品質向上をめざして、鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得します。（セミナーで製作したプリント基板はお持ち帰りいただけます。）
	①鉛フリー化 ②手はんだ付けの科学的知識 ③鉛フリー手はんだ付けの課題 ④鉛フリー手はんだ付けの作業ポイント ⑤鉛フリー手はんだ付け実習 ⑥まとめ 担当講師（予定） 白光株式会社　有資格講師

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

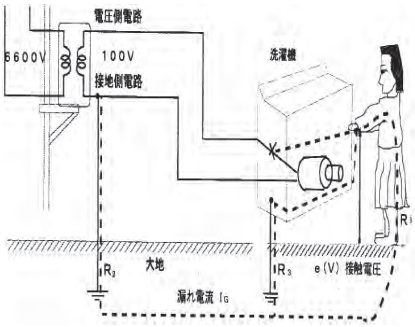
生産設備保全

コース No. 3D170

コース名　現場のための電気保全技術

受講料	8,000 円	日程	8/8(木)、9(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	リレー、ブレーカ、サーマルリレー、電動機、テスタ、絶縁抵抗計等
訓練内容	現場で使用される電気機器（リレーやモータ等）の仕組みや故障時の対処方法など電気保全に必要な知識を学びます。またテスタや絶縁抵抗計などの計測器についても使用方法や仕組みについて学びます。
	①電気災害の概要 ②生産設備に使われる電気機器の特性 ③リレーやブレーカ、サーマルリレーの分解実験 ④現場で使われる測定機器の使用法 ⑤まとめ



生産設備保全

コース No. 3D290

コース名　高圧電気設備の保守点検技術

受講料	10,000 円	日程	11/7(木)、8(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	模擬キュービクル、継電器試験器 (IP-R2000)、耐圧トランス (R-1220)、高電圧絶縁抵抗計、各種保護継電器、検電器
訓練内容	高圧受変電設備で使用されている機器のシンボル・機能等を習得するとともに、高圧受電設備の点検実習を通して、各種点検項目および測定器の使用方法を習得します。
	①高圧受電設備の概要 ②各種継電器 (GR,OCR 等) の動作特性試験 ③各種継電器と遮断器の連動試験 ④絶縁耐力試験 部外講師　上妻電気管理事務所　上妻　啓一郎 （第二種電気主任技術者、エネルギー管理士）

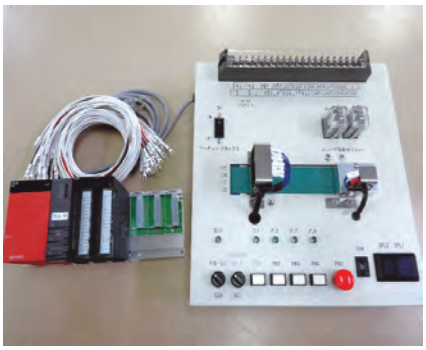
生産設備保全

コース No. 3D340

コース名　実践的 PLC 制御技術

受講料	8,000 円	日程	11/28(木)、29(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	PLC（Q03UDCPU)、GX Works2、コンベア負荷装置
訓練内容	PLC に関する知識・回路の作成・変更法と実践的な生産設備設計の実務能力を総合実習を通して習得します。 簡単な課題で動作を確認しつつ、総合的な課題を作成することで理解を深めます。
	① PLC の構成 ②デジタルスイッチと表示器 ③ PLC と負荷装置の配線 ④ラダー図の作成方法 ⑤順序動作のプログラミング ⑥数値データの入力と出力



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

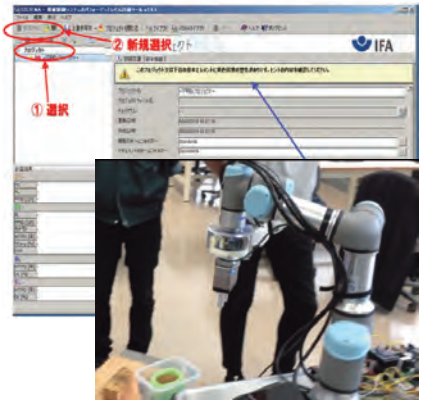
生産自動化設計

コース No.
3D280

コース名 産業用ロボット安全システム設計手法
〈協働ロボットシステム導入への実用的な安全構築と演習〉

受講料	14,500 円	日程	~~11/27(水)、28(木)、29(金)~~ ~~(27 日、28 日はオンライン受講可)~~ 中止
定員	20 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 18 時間）

主な使用機器	協働ロボットシス（UR3）、パソコン、PL 計算ソフト（SISTEMA）
訓練内容	生産自動化設計の生産プランニング技術者やシステムインテグレータが、生産性向上を目指してロボット導入する際の安全性向上に向けたリスクアセスメントやシステムの要求安全度水準の適合性評価演習を通して、ロボットシステムの機能安全を考慮した安全設計について習得します。
	①ロボットシステムの概要（関係法令・規格を含む） ②ロボットシステムの安全設計 ③リスクアセスメントとリスクの低減 ④使用上の情報 ⑤妥当性確認（システムの信頼性評価） ⑥要求安全度水準の適合性評価演習



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

建築計画／建築意匠設計

コース No. 3H030

コース名 実践建築設計２次元 CAD 技術

受講料	8,500 円	日程	5/18(土)、19(日)
定員	12 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、汎用 CAD ソフト (Jw_CAD)
訓練内容	建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②建築一般図 ③データ活用と環境設定 ④演習課題 ⑤まとめ

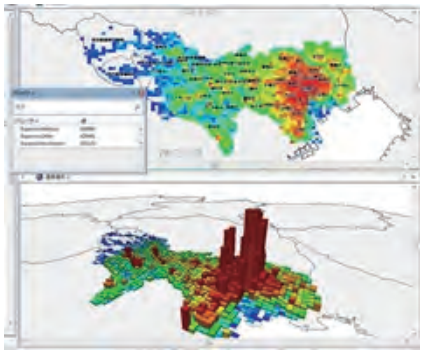
建築計画／建築意匠設計

コース No. 3H090

コース名 地理情報システムの運用技術

受講料	10,000 円	日程	8/29(木)、30(金)
定員	20 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、地理情報ソフト（SIS 9）
訓練内容	建築情報支援の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた地図を利用した情報管理システム、いわゆる地理情報システム（GIS）の運用技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②概論 ③地理情報システムの操作と活用 ④データベース作成及びカスタマイズ ⑤まとめ



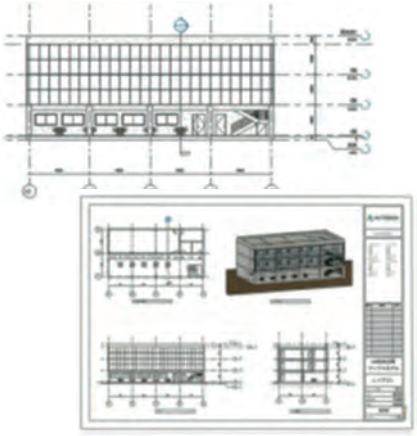
建築計画／建築意匠設計

NEW! コース No. 3H100

コース名 BIM を用いた建築設計技術

受講料	7,000 円	日程	9/3(火)、4(水)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具、電卓
訓練内容	建築設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた設計実習を通して、BIM を用いた建築設計に関する技術を習得します。 BIM ソフトは「Revit」を使用します。
	①BIM の概要 ②Revit の基本操作 ③サンプルモデルの作成（RC 造） ④作成モデルの活用



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

建築計画／建築意匠設計

コース No. 3H110

コース名 AR を活用した建築プレゼンテーション技法

受講料	10,000 円	日程	9/5(木)、6(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	Microsoft　HoloLens2、iPad・iPhone、使用ソフト(ジャイロアイホロ)
訓練内容	建設 DX が加速する現在、次世代のウェアラブル・システム Microsoft HoloLens2 や iPhone、iPad に対応した業務用 AR/MR システム「GyroEye（ジャイロアイ）」を使い、AR・MR から現場で使える実務レベルの技術まで習得します。
	①AR・MR 概要、活用事例 ②素材（BIM/CIM）データの作成・準備 ③AR･MR ビューワ操作（建築構造物･設備施工･木構造物） ④まとめ、質疑応答 外部講師　インフォマティクス㈱（予定）

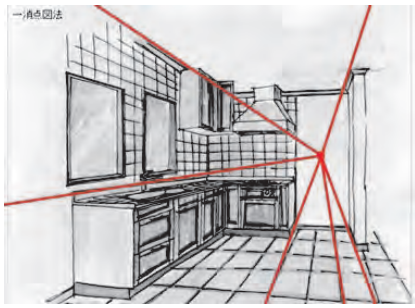
建築計画／建築意匠設計

コース No. 3H130

コース名 インテリアパース作成実践技術

受講料	7,500 円	日程	10/23(水)、24(木)
定員	10 名	時間	9：30～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	使い慣れた線画用ペン（0.1mm 0.5mm 適宜）、製図用具（三角定規や勾配定規など）、着彩道具（色鉛筆、マーカーなど）がありましたら持参してください。
訓練内容	手描きによる内観パース作成をとおして、設計における効果的な住宅インテリアパース作成の実践的な技術を習得します。
	①概要と図法について ②インテリアの知識 ③内観パースの作図演習 ④プレゼンテーション手法 ⑤まとめ



建築計画／建築意匠設計

NEW！ コース No. 3H150

コース名 実践建築設計 3 次元 CAD 技術－VR 技術の活用－

受講料	11,000 円	日程	11/16(土)、17(日)
定員	12 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具、パソコン、3D マイホームデザイナー
訓練内容	建築設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた計画段階におけるエスキス実習・モデリングの作成を通して、3 次元 CAD と VR を用いた意匠設計に関する技術を習得します。
	①3D マイホームデザイナー基本操作 ②3D マイホームデザイナー実践テクニック ③2 階建て住宅モデリング（提示モデル） ④オリジナル住宅データのモデリング（自作モデル） ⑤VR による空間体験

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

建築計画／建築意匠設計

NEW!

コース No. 3H190

コース名 建築設計におけるデジタルプレゼンテーション技法

受講料	11,000 円	日程	12/14(土)、15(日)
定員	12 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具
訓練内容	建築プロジェクトのプレゼンテーションを向上させ、クライアントやステークホルダーへの効果的なコミュニケーションを実現するためグラフィック系ソフトウェアを活用したプレゼンテーション資料の作成と編集を習得します。
	①Illustrator と Photoshop 基本操作 ②Illustrator と Photoshop 実践テクニック ③設計作品パネルの作成

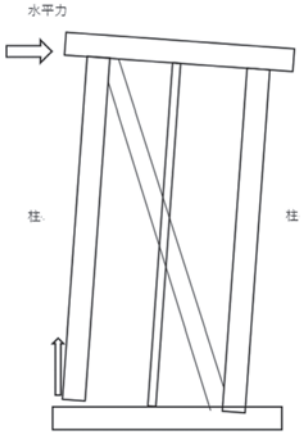
建築構造設計

コース No. 3H070

コース名 木造住宅における許容応力度設計技術

受講料	11,000 円	日程	6/1(土)、8(土)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具、関数電卓（注：構造計算ソフトは使用しません。手計算で内容を理解します。）
訓練内容	木質構造設計の生産性の向上をめざして、適正化、安全性向上に向けた構造設計段階における許容応力度設計実習を通して、許容応力度計算における理論的な根拠・ポイントの技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②荷重・外力 ③鉛直構面の設計実習 ④水平構面の設計実習 ⑤部材の設計実習 ⑥まとめ



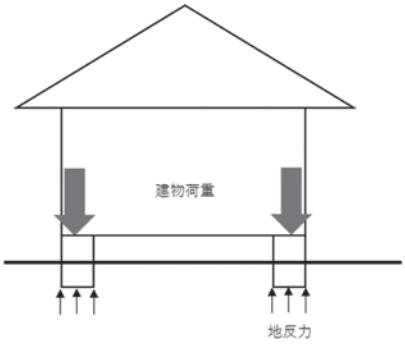
建築構造設計

コース No. 3H120

コース名 住宅基礎の構造設計実践技術

受講料	11,000 円	日程	10/19(土)、26(土)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	関数電卓　筆記用具
訓練内容	住宅基礎の構造設計における生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた基礎設計実習を通して、住宅建築における基礎の構造設計手法の実践的活用技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②住宅基礎設計の概要 ③基礎の設計手法 ④基礎設計実習 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

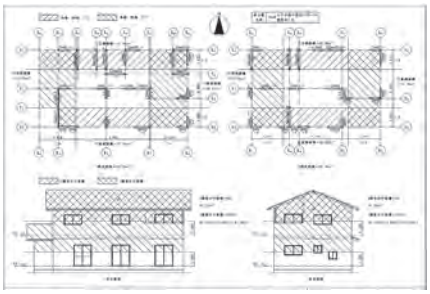
建築構造設計

コース No. 3H140

コース名 木造住宅における許容応力度設計技術

受講料	11,000 円	日程	11/14(木)、15(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具、関数電卓（注：構造計算ソフトは使用しません。手計算で内容を理解します。）
訓練内容	木質構造設計の生産性の向上をめざして、適正化、安全性向上に向けた構造設計段階における許容応力度設計実習を通して、許容応力度計算における理論的な根拠・ポイントの技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②荷重・外力 ③鉛直構面の設計実習 ④水平構面の設計実習 ⑤部材の設計実習 ⑥まとめ



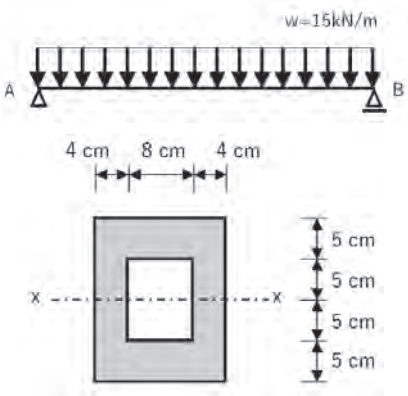
建築構造設計

NEW! コース No. 3H160

コース名 静定構造物の構造解析技術（静定構造物の応力計算）

受講料	10,000 円	日程	12/11(水)、12(木)、13(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 18 時間）

主な使用機器	筆記用具、関数電卓
訓練内容	建築構造解析において現場力の強化をめざし、基本となる静定構造物のモデルを通して、建築構造設計に関する技能･技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②静定構造物の反力・応力計算 　静定はり、静定ラーメン、静定トラス ③断面算定（断面一次・二次モーメント） ④許容応力度計算・静定構造物の変形 ⑤まとめ



建築施工（施工計画／施工管理）

NEW! コース No. 3H170

コース名 建築施工現場運営計画策定技術

受講料	9,500 円	日程	4/4(木)、5(金)
定員	15 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、パソコン画像提示装置、書画カメラ
訓練内容	建設業の施工管理の生産性向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた、施工現場の管理業務における各種計画実習を通して、施工管理の運営技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②建設業を知る ③建築現場の運営 ④現場運営作業の実践 ⑤まとめ ※「公共建築工事標準仕様書（最新版）」をご持参ください。

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

建築施工（施工計画／施工管理）

コース No. 3H010

コース名 建設現場管理実践技術（施工・施工管理・仮設計画図編）

受講料	10,000 円	日程	4/8(月)、9(火)、10(水)
定員	15 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 18 時間）

主な使用機器	パソコン、デジタルカメラ、配筋、型枠施工用工具
訓練内容	建設現場運営の現場力強化及び技能継承をめざして、実務に即した安全施工サイクル・施工体験を経た施工管理実習および仮設計画・仮設施工図の作成を通して、施工管理技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②安全施工サイクル ③鉄筋工事実習と施工管理 ④型枠工事実習と施工管理 ⑤仮設計画と仮設足場図 ⑥まとめ

建築施工（施工計画／施工管理）

コース No. 3H020

コース名 建設現場管理実践技術（測量・仮設工事編）

受講料	9,500 円	日程	4/11(木)、12(金)、15(月)
定員	15 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 18 時間）

主な使用機器	レベル、セオドライト、仮設資材
訓練内容	建設現場運営の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた測量機器を用いた実践的な建築測量及び仮設工事に関する技能・技術を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②測量機器の取り扱い ③測量実習 ④測量データの CAD 化 ⑤足場組立とレベル測量 ⑥まとめ

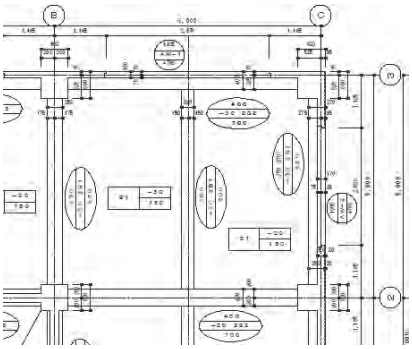
建築施工（施工計画／施工管理）

コース No. 3H040

コース名 施工図作成実践技術（コンクリート躯体図編）

受講料	7,500 円	日程	5/20(月)、21(火)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、汎用 CAD ソフト（JW_CAD）
訓練内容	施工計画／施工管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた躯体工事の施工計画と納まりの理解を深め、各種応用的設定と課題演習を通じて、施工図作成の実践的技術を習得します。
	①コース概要及び設計概要 ②施工図（躯体図）の読み方 ③施工図（躯体図）のルール ④躯体施工図作成演習 ⑤まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

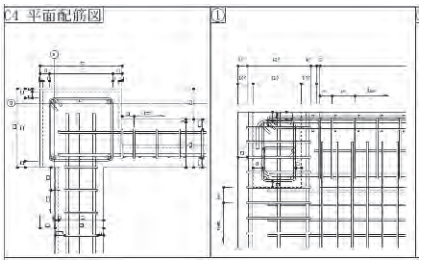
建築施工（施工計画／施工管理）

コース No. 3H050

コース名 施工図作成実践技術（配筋図編）

受講料	7,500 円	日程	5/22(水)、23(木)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	パソコン、汎用 CAD ソフト（JW_CAD）
訓練内容	施工計画／施工管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた躯体工事の施工計画と納まりの理解を深め、各種応用的設定と課題演習を通じて、施工図（配筋図）作成の実践的技術を習得します。
	①コース概要及び設計概要 ②鉄筋の定着計算 ③配筋詳細図（鉄筋の納まりの検討）演習 ④配筋図（ピッチ割）の作成演習 ⑤まとめ　※「公共建築工事標準仕様書」をご持参ください。



建築施工（施工計画／施工管理）

コース No. 3H060

コース名 木造住宅における耐震補強工事実践技術（古民家＜伝統構法＞の改修編）

受講料	10,000 円	日程	5/29(水)、30(木)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具を持参してください。
訓練内容	構造部材の違い、耐震性能、課題演習をとおして、古民家の改修を習得します。
	①在来工法と伝統構法の構造的な違い ②伝統構法の特徴と部材 ③耐震構造について ④課題演習　外部講師 （一社）全国古民家再生協会　福岡第三支部 支部長　山口　昇（予定）

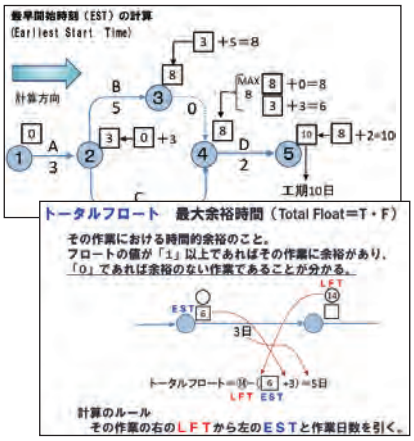
建築施工（施工計画／施工管理）

コース No. 3H080

コース名 ネットワーク工程管理実践技術

受講料	7,000 円	日程	6/4(火)、5(水)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	筆記用具、電卓
訓練内容	施工計画・施工管理の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたネットワーク工程表の計算演習を通して、実践的なネットワークプランニング手法による工程表作成技術を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②工程管理の概要 ③ネットワーク工程表の概要と計算方法 ④工程の暦日化 ⑤マンパワースケジューリングへの活用



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

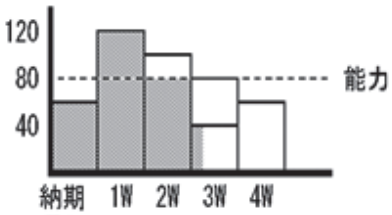
工場管理

コース No. 3M100

コース名 製造現場における工程管理技法と改善

受講料	9,000 円	日程	6/18(火)、19(水)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	電卓
訓練内容	生産現場における生産工程の最適化・効率化及び改善をめざして、自社の生産現場の現状を踏まえた工程を管理する手法について習得します。
	①コース概要と留意事項 ②工場生産のしくみと生産計画 ③工程管理と進度管理 ④工程管理手法による実践的課題実習 ⑤まとめ



工場管理

NEW!

コース No. 3M140

コース名 QC７つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

受講料	9,000 円	日程	7/11(木)、12(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	電卓
訓練内容	品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製造現場で発生する問題について演習を通して、QC７つ道具を使用して、定量的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②品質管理 ③製造業における定量的な問題の解決技法 ④総合演習 ⑤まとめ

工場管理

コース No. 3M190

コース名 製造現場の業務改善のための問題解決技法＜現場の問題を捉えるための“眼”を養う＞

受講料	11,000 円	日程	9/5(木)、6(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製造現場の諸問題の解決のための進め方・考え方について習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②製造現場の問題解決とは ③問題発見のポイント ④原因の究明対策の実施 ⑤業務改善の進め方 ⑥総合演習 ⑦まとめ

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

工場管理・教育訓練

工場管理

コース No. 3M230

コース名 生産現場における現場改善技法

受講料	9,000 円	日程	10/17(木)、18(金)
定員	10 名	時間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産現場に発生する問題点の分析や改善のための手法及び生産効率を向上させるため現場改善（作業改善）の技法を習得します。
	①コース概要及び留意事項 ②生産現場の作業改善 ③生産現場の環境改善 ④生産現場の工程改善 ⑤作業分析手法と改善効果測定 ⑥実践的課題実習

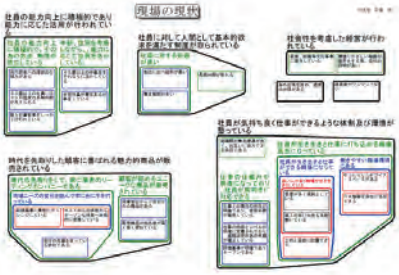
工場管理

コース No. 3M260

コース名 生産現場に活かす品質管理技法 ＜改善対象に合わせた技法活用力を養成＞

受講料	11,000 円	日程	11/7(木)、8(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	電卓
訓練内容	生産現場において、生産性の効率化・最適化をめざして、科学的管理手法として統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。
	①コース概要と留意事項 ②品質管理概要 ③統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上 ④生産現場に活用できる応用課題実習 ⑤まとめ



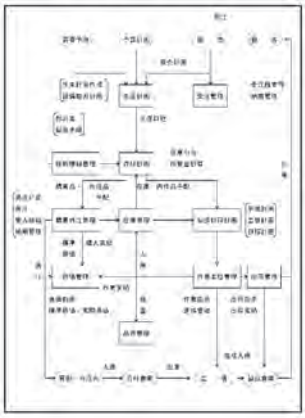
工場管理

コース No. 3M270

コース名 製造業におけるコストダウン実践法＜現場コストを要因と結果で考える＞

受講料	11,000 円	日程	12/5(木)、6(金)
定員	10 名	時間	9：00 ～ 16：00（計 12 時間）

主な使用機器	――――
訓練内容	生産現場における生産性向上や生産工程の低コスト化、効率化をめざして、生産現場に発生する問題点をコストに絞った視点でとらえ、テーマ別に改善する具体的方策を探し出す手順や解決法を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②製造業におけるコストダウンの進め方 ③実践的な管理の進め方 ④製造業における改善ポイントの考え方 ⑤コストダウンを実践する課題実習 ⑥まとめ



※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

教育訓練

コース No. 3M040

コース名　5S によるムダ取り・改善の進め方

受講料	9,000 円	日　程	5/21(火)、22(水)
定　員	10 名	時　間	9：30 ～ 16：30（計 12 時間）

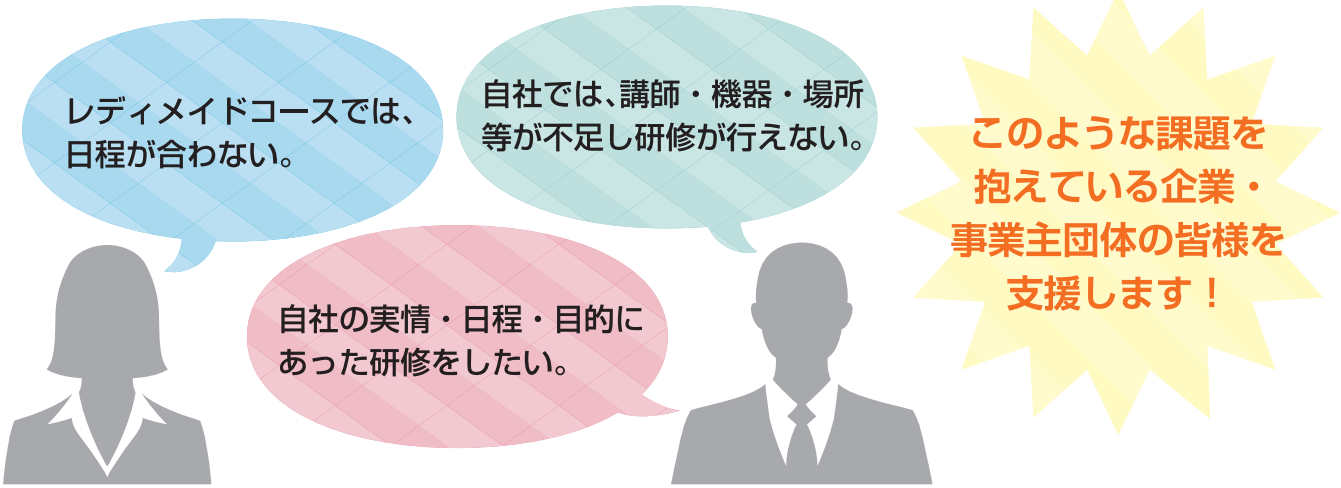
主な使用機器	――――
訓練内容	指導技法の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、診断・予防保全に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得します。
	①コース概要と留意事項 ②5S 推進による現場の改善 ③ムダ取りの実践による現場改善 ④現場改善のための指導技法 ⑤まとめ

※セミナーで使用する持参品等は、受講票でご確認ください。

memo

オーダーメイド型セミナーのご案内

九州職業能力開発大学校では、公開中のセミナー（レディメイド型）の他に、企業・事業主団体様のご要望に応じたオーダーメイド型セミナーを承っております。



計画のポイント

- コースガイド等でご案内しているセミナーは、すべてオーダーメイド型セミナーとして計画できます。
- 会場は、原則として当大学校となりますが、実施内容により出張セミナーにも対応します。
- 定員は５名以上ですが、ご相談に応じます。
- 時間は１コース 12 時間以上となります。
- 受講料は、教材及び当大学校が定める諸経費を含めてご提示します。

＊ご相談の内容・日程などによりご要望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

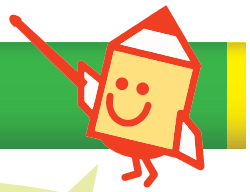
ご相談から実施までの流れ

1. お問い合わせ（まずはお電話で）
2. 打ち合わせ（内容、日程、受講者数など）
3. 内容・日程等の提案と受講料見積額の提示
4. 企業・事業主団体様によるご確認
5. 受講申込（約１ヶ月半前）
6. 受講料の請求（開校日の14日前を目途に）
7. 受講料のご入金（開校日の５日前までに）
8. セミナーの実施

＊受講者人数の変更については、セミナー開講日の 14 日前までにお願いします。それ以降の取消等は原則として受講料を負担していただきますので、あらかじめご了承ください。

セミナーのお問い合わせ、ご相談は、表紙に記載の援助計画課まで願いいたします。

共同研究・受託研究のご案内



九州職業能力開発大学校では、企業等の新技術の導入、新製品の開発、業務の自動化や効率化などの技術的な課題について支援を行っています。

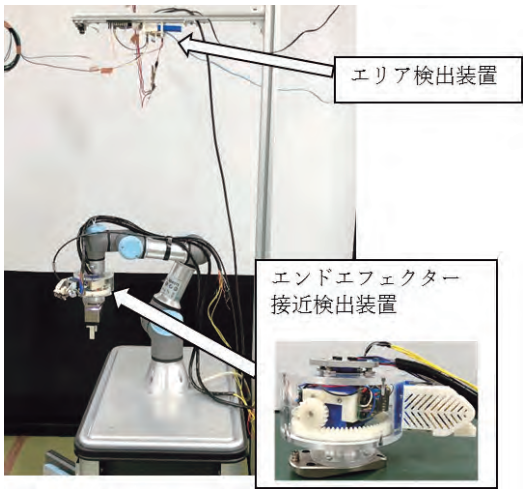
技術的な課題を共同で解決しましょう!!

令和２年度共同研究（H30 年度～ R2 年度）

協働ロボットのためのアクティブ検出機能の開発

少子高齢化が叫ばれる現在の日本において、労働力不足を解消する手段として、協働ロボットの活用が注目を集めています。協働ロボットは従来の産業用ロボットとは異なり、柵や囲いを介さずに人と同じ空間で作業するため、機能安全を考慮したリスクアセスメントが必要です。このため、「エンドエフェクタ接近検出装置」とその補助的な機能となる「エリア接近検出装置」の開発に取り組みました。

「エンドエフェクタ接近検出装置」はロボットの先端部が人やモノに接触する前に、設定した距離に近づいたとき検出信号をコントローラに出力します。「エリア接近検出装置」はロボット周辺の設定エリアに人やモノが侵入したときにコントローラに出力信号を出します。コントローラはこの信号を使い減速や停止など現場環境に応じてプログラミングすることで機能安全を活用したリスク低減が可能となる研究をおこないました。



エンドエフェクター接近検出装置

共同研究の成果　SKソリューション株式会社

当社は 2003 年の設立以降、電機・機械の各種制御機器やシステムの提供、ソフトやハードをつなぎ合わせた最適なソリューションの提案等をおこなう技術商社として九州のものづくりに貢献しています。

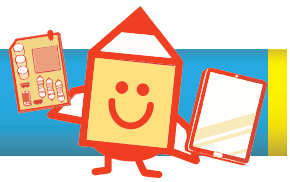
当社の提供するソリューションの一つとして、安全性、操作性を追求した協働ロボットがありますが、このロボットの安全性に必須のセンシングに関するテーマを、平成 30 年度に九州職業能力開発大学校に相談したことがきっかけで、上記のテーマで共同研究を 3 年間取組むこととなり、その成果の一つとして令和 4 年 4 月に特許を取得することができました。

九州職業能力開発大学校との関わりの中で感じたのは、学生に企画力、実践力があるということです。当社で採用した同校の多くの修了生も、即戦力として活躍してくれています。

新しいものを吸収し、5 年後 10 年後のビジョンを見据えて次のステージへと進める力のある技術者の育成を、今後も同校に期待しています。

令和4年４月26日登録
特許番号：特許第7064458号
(P7064458)

施設・設備利用のご案内



事業主や事業団体が自ら行う教育訓練や研修の場を提供するために、教室や会議室等の施設のほか、実習場の設備・機器等の開放を行っています。

利用時間帯・利用料金

平　日　9：00～17：00

休　日　9：00～17：00（土・日・祝日及び授業のない日）

＊１時間単位でご利用できます。（分単位は切り上げ）
＊夏期（７～９月）及び冬期（11～３月）は、通常時と料金が異なります。
＊実習場・教室・機器により、利用料金が異なりますので、お問い合わせください。
＊機器の持ち出しは出来ません。当該機器の設置・管理場所（実習場等）内でのご利用に限ります。
　また、機器の利用料金に加え、設置・管理場所（実習場等）の利用料金、警備員費も必要です。
　（以下の表は一例です。また、年度によって異なります。）

施設等（一例）	収容人員	使用料金／１時間（円）		
		通常時	夏　期	冬　期
大会議室（B102）	60 名	100	200	200

設備等（一例）

●普通旋盤　●フライス盤　●マシニングセンタ　●NC旋盤　●精密平面研削盤　●CNC３次元測定機 等

利　用　方　法

① まずはお電話で、お問い合わせください。
（ご利用希望日時や設備等について確認いたします。）

② ご利用開始希望日の１ヶ月前までに「施設設備使用申請書」を郵送にてご提出ください。
受付は、ご利用開始希望日の２ヶ月前からとなります。

申請書の
ダウンロードはこちら

利用料金のご入金について

① ご利用日の概ね 14 日前までに「請求書」、「承諾書」を送付いたします。

② 原則としてご利用日の５日前までに利用料金をご入金ください。
（未納の場合は、ご利用をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。）

留　意　事　項

■ 申し込み時

・ご利用にあたっては、授業等でご希望に添えない場合がございます。
・営利を目的とした展示会・研修会等や、その他当大学校の施設設備貸与の趣旨に沿わない場合は、ご利用できません。
・申込後の取消は、施設貸与開始日の７日前までに必ずご連絡ください。それ以降の取消や連絡等がない場合は､利用料金を負担していただきます。

■ 利用にあたって

・ご利用後は、清掃、片づけを行い必ず原状に回復してください。
・機器等を使用する前には、安全点検を実施していただき、申請者の責任の上で、ご利用ください。（機器等使用中の事故等について、当大学校では一切責任を負いかねます。）

■ 注意事項

・施設設備及び機器を毀損、消失等をした場合は、損害賠償請求を行います。
・特別警報等による大規模災害が予想される場合や災害発生時等は、施設貸与等を中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

施設・設備利用のお問い合わせ、ご相談は、表紙に記載の援助計画課までお願いいたします。

ご利用者の声（施設設備利用・能力開発セミナー受講）

岡住工業株式会社　本社（北九州市八幡西区則松５丁目 20 番 13 号）
岡住工業株式会社　第一事業部　システム工場（行橋市西宮市二丁目 13 番１号）

創立以来、培った技術と信頼をベースにあらたな分野への挑戦を続けます。
当社は 1951 年の創立以来 71 年間、各種産業用プラントシステムの自動化を推進する企業として、長年に亘り豊富な実績を築いて参りました。この間、わが国は世界に存在感のある産業社会を実現しましたが経済のグローバル化が進み、また自然との共生が求められる中、真の技術が評価される時代となりました。
そのような背景の中で、システム＆エレクトロニクスの岡住工業は、これからも「最新の技術でお客様がご満足頂ける製品を短期間でお届けする」ことを経営理念に掲げ、常に次世代を志向した技術の研究と開発を考え未開の領域に挑戦し、社員一同なお一層の努力を傾注して参ります。

第一事業部長　岡住啓五　様

「人が育つ環境作り」を最重点項目として昨年取り組みを開始してから、社内での教育体制を充実させるとともに、社外での専門的な実践講習も受けさせたいと思い、能力開発セミナーを利用させてもらうようになりました。「機械系コース」「電気･電子系コース」の中から当社設計部門に関係する内容のコースを社員が自分達で受けたいものを選択して受講しています。構造設計者は 3D-CAD にチャレンジして今後の設計技術向上につなげる取り組みをしており、オーダーメイドで当社のレベルにあった講習を受けています。回路設計者は普段の仕事は回路図を書くこと迄がメインですが、実際に PLC やインバータやモータを使っての制御を体験することで、図面上の知識の再確認や理解を深めることを目的として講習を受けています。
受講後の報告書では、「わかりやすい」「面白かった」と社員達の満足度が非常に高いことに驚きと喜びがありました。今後も継続的にセミナーを活用させていただき、社員の技術力向上とやる気の醸成に役立てていきたいと考えています。

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業や事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です。

訓練は、全国のポリテクセンターに設置した生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）が、専門的な知見やノウハウを持つ民間機関等に委託し、企業・団体の課題やニーズにあわせて実施します。

さまざまな内容･分野の幅広い職務階層の方を対象としたカリキュラムで､従業員の生産性向上をお手伝いします。

能力開発セミナーと併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

生産性向上支援訓練を利用して従業員の生産性をアップ！

こんなお悩みありませんか？

生産性アップに役立つカリキュラムをご用意しています！

生産・業務プロセスの改善に関するお悩み・ニーズ

・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
・コストの削減に取り組みたい。

→ **生産管理 品質保証・管理 流通・物流 バックオフィス 分野**

・生産現場の問題解決
・品質管理基本／実践
・テレワークを活用した業務効率化　など

組織の横断的な課題に関するお悩み・ニーズ

・従業員の仕事の効率化を促進したい。
・業務改善の考え方を理解したい。
・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

→ **組織マネジメント 生涯キャリア形成 分野**

・IoT を活用したビジネスモデル
・業務効率向上のための時間管理
・作業手順の作成によるノウハウの継承　など

売上げの増加に関するお悩み・ニーズ

・顧客満足度の向上を図りたい。
・消費者の動向を営業に活用したい。
・インターネットを活用した効率的な広報を実施したい。

→ **営業・販売 マーケティング 企画・価格 プロモーション 分野**

・ビジネス現場における交渉力
・実務に基づくマーケティング入門
・チャンスをつかむインターネットビジネス　など

IT を活用した業務改善に関するお悩み・ニーズ

・データ集計の作業を効率化したい。
・マクロを使って定型業務を自動化したい。
・集客につながるＨＰを作成したい。

→ **ネットワーク データ活用 情報発信 倫理・セキュリティ 分野**

・社内ネットワークに役立つ管理手法
・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
・情報漏えいの原因と対応・対策　など

※上記のほか、企業・団体の生産性向上に関する様々な課題の解決や現場力の強化に関するカリキュラムをご用意しています。

人材開発支援助成金が利用できます

生産性向上支援訓練を従業員に受講させた事業主は、人材開発支援助成金を利用して経費及び賃金の助成を受けることができます。

※助成金の受給には、一定の要件（訓練対象者の職務と訓練内容の関連が認められることや所定の時間数以上受講する等）を満たす必要があります。

お問い合わせ

ポリテクセンター福岡（福岡事務所）生産性向上人材育成支援センター
〒810-0042　福岡市中央区赤坂１－１０－１７　しんくみ赤坂ビル６階
TEL:０９２－７３８－８８７５　　FAX:０９２－７１８－７６１１

交通アクセスのご案内

アクセス

- ＪＲ九州【日田彦山線】　小倉→(20 分) →　志井公園　→(徒歩 15 分)
- 北九州モノレール　小倉→(19 分) →　企救丘　→(徒歩 15 分)
- 西鉄バス　小倉→(40 分) →志井小学校前→(徒歩 10 分)
  [34] 中　谷　行き（のりば2）
  [34] 志井車庫　行き（のりば2）
  [36] 志井車庫　行き（のりば1）

無料駐車場 完備

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部
九州職業能力開発大学校

援助計画課

TEL：093-963-8352
FAX：093-963-0126
Eメール：kyushu-college03@jeed.go.jp
〒802-0985　福岡県北九州市小倉南区志井 1665-1
https://www3.jeed.go.jp/fukuoka/college/

ハロートレーニング
急がば学べ

九州ポリテクカレッジ　検索

能力開発セミナー受講申込書

FAXの際は、コピーしてご利用ください。
受講申込書は、当校HPにもございます。

申込日　　年　　月　　日

コースNo.		日　程		受講料	円 × 人
コース名					
(フリガナ) 会社名				TEL	ー　ー
				FAX	ー　ー
団体名	※会社が所属している団体の名称を記入して下さい				
所在地	〒　ー				
会社規模 ※該当に✔	□A.1～29人　□B.30～99人　□C.100～299人　□D.300～499人　□E.500～999人　□F.1,000人以上				
業種 ※該当に✔	□A.製造業　□B.建設業　□C.サービス業　□D.卸売・小売業　□E.その他（　　）				
受講区分 ※該当に✔	□1．会社からの指示による受講	（受講者が所属する会社の代表の方（事業主、工場長等）に、アンケート調査のご協力をお願いしております。）		□2．個人での受講	
申込担当者 会社指示の場合	部署名	氏名		TEL	ー　ー
				E-mail	

請求書等の送付先に✔をお付けください **（セミナー開講の２週間前頃にお送りします）**	□1．会社あて　□2．個人あて　（受講者住所欄にご記入ください）

受講者氏名			●受講するコース内容に関連する経験・技能等についてお聞かせください		
(フリガナ) 氏名		□男・□女	セミナーを進める上での参考とさせていただくため、差し支えない範囲でご記入ください （例：切削加工の作業に５年間従事）		
生年月日	西暦　年　月　日		※ 就業状況（該当に✔）□1．正社員 □2．非正規雇用 □3．その他（自営業等）		
受講者住所 （※送付先が個人あての場合のみ）	〒　ー			TEL	ー　ー
				FAX	ー　ー
緊急連絡先	住所			TEL	ー　ー
(フリガナ) 氏名		□男・□女	（例：切削加工の作業に５年間従事）		
生年月日	西暦　年　月　日		※ 就業状況（該当に✔）□1．正社員 □2．非正規雇用 □3．その他（自営業等）		
受講者住所 （※送付先が個人あての場合のみ）	〒　ー			TEL	ー　ー
				FAX	ー　ー
緊急連絡先	住所			TEL	ー　ー
(フリガナ) 氏名		□男・□女	（例：切削加工の作業に５年間従事）		
生年月日	西暦　年　月　日		※ 就業状況（該当に✔）□1．正社員 □2．非正規雇用 □3．その他（自営業等）		
受講者住所 （※送付先が個人あての場合のみ）	〒　ー			TEL	ー　ー
				FAX	ー　ー
緊急連絡先	住所			TEL	ー　ー

※セミナー開講２週間前の時点で定員の５割に満たない場合は、コースを中止または日程変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。その場合は、別途ご連絡いたします。
※申込後の取消は、セミナー開講の 14 日前（土日祝日を含む）までにご連絡ください。それ以降の取消や連絡がない場合は、受講料を負担していただきます。
※緊急事態（地震等）が発生した場合のため、緊急連絡先の住所・電話番号のご記入をお願いします。
※受講料は、税込みです。また、消費税率が変更された場合、受講料を改定する場合がありますのであらかじめご了承ください。
※訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。
※当校のセミナーは、雇用調整助成金又は中小企業雇用安定助成金、人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）の対象となります。

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年法律第 57 号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
○ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
○今後機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等に参加を希望されますか。
□ 希望する　　□ 希望しない

お問い合せ・お申込み先（お申込みは、メールまたはＦＡＸ、郵送にてお願いします）

九州職業能力開発大学校　援助計画課
〒 802-0985　北九州市小倉南区志井 1665-1
TEL：093-963-8352　FAX：093-963-0126
Ｅメール：kyushu-college03@jeed.go.jp

※申込書は、ＨＰからダウンロードできます。

受講申込書のダウンロードはこちら

＊機構処理欄

受付		システム		備考

R4.12.1改訂

ハロートレーニング
急がば学べ